

アセンション BOOK39

闇の創造主からの解放2

2018年8月

闇の創造主からの解放2 地球の隠された秘密と闇の罠



地球の隠された秘密と闇の罫 目次

- 第1章 地球人に仕掛けられた罫と「紫ピラミッド」
- 第2章 紫ピラミッドを作り上げた種族
- 第3章 人々の魂に仕掛けられた罫
- 第4章 スターピープル達の受難
- 第5章 紫ピラミッドに捕らわれた種族
- 第6章 5大エレメントの種族の救出
- 第7章 ホーリーエレメント族の秘密
- 第8章 未来から来た種族と闇の創造主
- 第9章 宗教に仕掛けられた罫
- 第10章 全てを虚無に返す宇宙

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ 光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 地球人に仕掛けられた罠と「紫ピラミッド」

PART1 地球人に仕掛けられた罠と「紫ピラミッド」

2018年の7月になると、私達は創造主と大天使達の協力を得て「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを完成させました。

このアチューメントは「宇宙に闇をもたらす創造主」達が地球人の意識進化を妨害するために、地球人の過去世を操作して、地球人にネガティブな感情を植え込んでいたことが判明しましたので、その不要な過去世と感情を地球人から分離するためのアチューメントです。

地球人は、地球人の創生時代に入り込んだ「宇宙に闇をもたらす創造主」達によって、いままですコントロールを受け、彼らの思うままにコントロールされて生きてきました。

地球人は、ある時期、天の川銀河の優秀なスターピープル達の遺伝子を組みあわせて生み出されました。

もともと地球生まれの種族達もいたのですが、創造主は、この地球から天の川銀河を代表するようなスターピープルを生み出すために、あえて地球の原始的な種族にスターピープル達の遺伝子を組み合わせるハイブリッドの種族を作ろうとしたのです。

その目的は、地球から優秀なスターピープルを生み出して、天の川銀河のスターピープル達を進化させる事、そして天の川銀河自体を成長させることでした。

しかしながら、その事を良く思わない「宇宙に闇をもたらす創造主」は、新しく生み出された地球人が進化しないように様々な仕掛けを作ったのです。

そして、地球人が精神的な進化や意識の覚醒を起こす事を妨げ、創造主やスターピープル達との繋がりを絶とうとしたのです。

「宇宙に闇をもたらす創造主」は、地球人の意識をコントロールする装置を作り、すべての地球人にその装置の支配を受けるためのコードを埋め込みました。

このコードは「地球人の進化を妨げるコード」として、地球人の意識レベルやスピリチュアルなレベルに埋め込まれていましたので、私達は長い間、そのコードを外すための努力を行っていました。

私達は、そのコードを外すために、その人の過去世を癒したり、様々な意識進化のためのセッションを行っていましたが、その人の恐れや不安が出てきてうまく外すことができませんでした。

私達は、「デバインライトヒーリング」や「ネガティブコードの除去」など、様々な方法を大天使や創造主から与えられ、多くの人にその方法を試みたのですが、最終的にそのコードを外す事ができたのは、ほんの数名の人達だけでした。

しかし、ここにきて「地球人の進化を妨げるコード」を外すことができなかつた原因も「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った仕掛けにあることがわかりました。

「宇宙に闇をもたらす創造主」は、地球人が意識進化をしようとする時や自分のスピリットの働きに目覚めようとする時、あるいは「意識進化を妨げるコード」を外そうとする時に、そのことを妨害するための仕掛けを作っておいたのです。

それは、その人が目覚めようとする時や意識進化をしようとする時に、そのような事を行ったためにひどい仕打ちを受けたというような過去世を作り、その時の恐怖や怒り、絶望感、苦しみの感情を、その人の潜在意識に埋め込むことでした。

そして、人々が意識進化をしようとする時に、その時の過去世の感情が表れてきて、意識成長をすることに對して恐怖や苦痛を味あわせるようにしたのです。

この仕掛けによって、人々は意識進化やスピリットの働きに目覚めようとする時、あるいは高次の意識と繋がろうとする時に、過去世で作られた感情に邪魔されて、目覚める事や意識成長する事に恐怖を抱き、自分自身に対しても否定的な感情を持つようになります。

地球人は、感情によって動かされる種族ですので、そのようなネガティブな感情が表れると、それを乗り越えることができず、意識の成長を諦め、物理的な生活に目をそらしてしまうのです。

いままで地球人をアセンションさせるために、多くのスターピープル達が地球人の感情を処理してきました。

スターピープル達は、地球人から怒りや憎しみ、恐怖などの感情を取り除き、愛や喜びの感情を持ってもらうことで、地球人の意識を高め、進化させようと試みてきました。

しかし、スターピープル達が働きかければ働きかけるほど、地球人のネガティブな感情が、さらに強く発散されていきました。

これも「宇宙に闇をもたらす創造主」が仕掛けてきた罠によるものでした。

私達は、「宇宙に闇をもたらす創造主」が地球人に対して仕掛けた罠を、いくつも明らかにする事が出来ましたが、その罠を1人1人の地球人から解除することは、簡単な問題ではありませんでした。

創造主やスターピープル達の支援により、ダークピープル達が地球人の意識をコントロールするために使用していた装置を破壊し、人々のスピリチュアル体の中に埋め込まれているコードを無効化することはできたのですが、地球人達が目覚めようとするときに発動してくる過去世とそこから生み出される感情の処理を行う必要が残されたのです。

この過去世と感情の処理を行うために、創造主と大天使達の協力により「6大天使の光のピラミッド」というアチューメントが生み出されました。

このアチューメントにより、地球人の中に埋め込まれた不要な過去世と感情を処理することができるようになったのですが、光の世界に向かう地球人の人数に比べると、私達がお世話出来る人々の数はあまりにも少ないようです。

しかしながら、このアチューメントを通して少しでも多くの方が、自分の精神的成長を阻害する過去世と感情を解放出来たらよいと思っています。

スピリチュアル的に言えば、数10名の人にこのアチューメントを行う事が出来たら、このアチューメントのエネルギーは地球上に広がるので、私達が考えるよりもさらに多くの人々の過去世と感情を処理する事ができると、大天使達は言うのですが、どこまで地球の人々を助ける事ができるのか、私達には分かりません。

「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを始めてから、地球の人々を支配しようとする「紫ピラミッド」のダークピープルと私達の争いは、さらに激しいものになりました。

地球人はスピリチュアルな世界が見えませんが、自分達が現実世界で行っている事が、スピリチュアルなレベルでどのようなことを引き起こしているのか理解していません。自分の欲望をかなえるために特別な能力やパワーを身に着けたいと考えている人や他人に依存することばかり行っている人達は、ダークピープルの罠にかかり、その魂やスピリットを捕えられてしまうことが良くあります。

私達は、ダークピープル達によって「紫ピラミッド」の中に閉じ込められている地球人のスピリットの解放を行っているのですが、スピリットの持ち主自身が、しっかりと「紫ピラミッド」の中から出ていく、ということを表示しない限り、その場所から解放されることはありません。

「6 大天使の光のピラミッド」を受けている人達は、光が多い世界に行くことを望んでいるので、全ての人達が「紫ピラミッド」から救い出されて、自分の意思で生きていく事を決断するだろうと私達は考えていましたが、事実は異なりました。

私達のセッションを受ける人でも、表向きは闇の存在達とのつながりを絶ち、光の世界に行きたいというのですが、本心では、特殊な能力を与えてくれるダークピープル達に依存したり、自分が行っているヒーリング等の能力を高め、多くのクライアントさんを持ちたいと考えている人達もいました。

あるいは、私達のセッションを受けていれば、自分が努力しなくても光の世界に連れて行ってもらえると考えていた人達もいました。

このような人達のスピリットの多くは、闇が多い世界の中から出てくることはありません。

しかしながら「6 大天使の光のピラミッド」のアチューメントが進むにつれて、「紫ピラミッド」の仕組みも分かってきました。

人々のスピリットを捕えて、自分達の活動源としていたダークピープル達も、その罪を問われて、今までよりも低い世界へと分離されていく事になりました。

特に、「紫ピラミッド」の主要メンバーは、現在活動している場所からさらに低い光 30%台後半から光 40%台初めの世界に移されることになりました。

さらに、「紫ピラミッド」の内部を探索されることで、彼らは「宇宙に闇をもたらす創造主」達から与えられた力を奪われることになり、その能力も大きく低下してきました。

とはいえ、「紫ピラミッド」のダークピープル達は、地球のほとんどの権力者達と一体化していますので、光40%台の世界では未だ圧倒的な支配力を誇っています。

私達としては、光51%以上の世界に行く人から「紫ピラミッド」の影響を取り除き、アセンションする世界に、「紫ピラミッド」の影響力が及ばないようにしていかなければなりません。

「紫ピラミッド」について簡単に説明しましょう。

それは、古代の地球において「宇宙に闇をもたらす創造主」や「闇の創造主」によって作り出されたダークピープル達が、地球の物理的な世界で地球人を支配し、文明を発展させるために作られた闇の組織です。

地球の政治や経済、宗教組織に至るまで、この「紫ピラミッド」に属する人達とダークピープルによって統治されています。

彼らは、利益や支配を目的として活動していますので、地球人を自分達に服従するように教育を行い、自分達の組織の目的に沿って働かせています。

この組織は物理世界に近い場所にあり、ピラミッドの形を象徴として使っていますが、本来はとても大きないくつもの階層に分かれた世界のことを指しています。

この世界は、物理的な地球の世界とスピリチュアルな世界の両方にまたがっており、地球人と一体化したダークピープル達が、主に活動しています。

そして上位の者達は、「宇宙に闇をもたらす創造主」や「闇の創造主」から特別な力を受け取り、その力を使ってすべてのダークピープルと地球人を支配しています。

PART2 ハイブリッドの地球人に行われた遺伝子操作

私達が「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを行うようになって、隠されていたいくつもの秘密が明らかになってきました。

それはスターピープルに進化するための地球人が生み出された時代の話です。

私達は、今までレムリアやアトランティスの古代文明よりも前の時代にさかのぼることはできなかつたのですが、「6 大天使の光のピラミッド」のアチューメントを始めると、その人の過去世が、叡智ある地球人が生み出された時代にまで戻り、地球人創世の秘密が明かされるようになりました。

これは、おそらく「第 23 評議会の創造主」が、地球人を創生したときに「宇宙に闇をもたらす創造主」が、地球人に対して何をしてきたのかを、調べるために行ったようです。

ある方のセッションの時に出てきた過去の時代では、もともと地球に生まれてきた種族と地球人にいくつものスターピープル達の遺伝子を組み込んで作り出されたハイブリッドの地球人がいました。

現在の地球人は、天の川銀河の優秀なスターピープルの遺伝子を組みあわせて作られたハイブリッドの地球人の子孫であると聞いています。

地球人に遺伝子を提供したスターピープルは、現在も地球人の教育に当たっているスターピープル達の種族です。

具体的に言うとアンドロメダ座、シリウス星系、プレアデイス星団、アルクツールズ星系、オリオン座、そしてナソールの種族達の遺伝子が組み込まれて新しい地球人が生み出されたのです。

ハイブリッドの地球人が生み出された理由は、天の川銀河のスターピープル達をさらに進化させるために統合の種族を作り出す事でした。

しかし「宇宙に闇をもたらす創造主」や彼らから生み出された「闇の創造主」達は、地球人を進化させ統合の種族を作ることには反対でした。

いつまでも地球人を進化せずに支配することを望んでいたからです。

その為に、新しく生み出された地球人の遺伝子の中にダークピープル達の遺伝子を組み込みました。

本来地球人は、愛と平和を好む種族だったのですが、ダークピープルの遺伝子を組み込まれることで、乱暴で残虐な性格の人間達が少しずつ生み出されてきました。

勿論ダークピープルの遺伝子を抑え、理性的で優しい性格を持った地球人もいましたが、少しずつダークピープルの遺伝子が活性化した人間達が優位に立ち、新しく生み出された地球人は、とても乱暴で支配的な種族へと移り変わってきました。

乱暴で支配的な傾向を持つ人々は、優しく理性的で平和を愛する人達を捕え、虐待していききました。

そうなる、もともと平和を愛していた人達も、自分達の身を守るために、乱暴で支配的な人々に服従するようになったのです。

この変化に、多くのスターピープル達が驚きました。

この天の川銀河で、最も優れたスターピープル達の遺伝子を持った地球人達が、まさにダークピープルさながらの性格になり、同じ地球人達を虐待していったのですから、それも当然です。

スターピープル達は、まさか新しく生み出された地球人にダークピープルの遺伝子が組み込まれていたとは考えもしませんでしたので、どのスターピープルの遺伝子が問題を起こしたのかと、お互いを探り始めました。

しかしその変化は、新しく生み出された地球人だけにとどまりませんでした。

その当時は、各星々のスターピープル達も、地球上に肉体をもって生まれていたので、物理世界でも地球人とスターピープル達が結婚して、異種族間の子供達が生まれてくるのがよくありました。

その子供達も新しく生み出された地球人と同じように乱暴で支配的な性格の人間に育っていったのです。

その様子を見たスターピープル達は、大きな失望を抱きました。

これは地球という環境のせいなのか、もともとベースとなった地球人にそのような遺伝子が備わっていたのかと考えるようになってしまったのです。

しかし、地球の状況はさらに悪くなってしまいました。

支配的で残虐な性格に変わってしまった地球人達が、同じ地球人だけでなく、自分達を生み出したスターピープル達まで迫害し始めたのです。

その当時、新しく生み出された地球人の数はどんどん増えていきましたので、数少ないスターピープル達では抑えきれなくなり、スターピープル達のほうが、その生活の場を奪われていきました。

スターピープル達はその状況を重く考え、一度地球の物理世界から、肉体をもっていたスターピープル達を撤退させることにしました。

そして、肉体を持たないスピリット体として地球人の未来を見守ることにしたのです。

しかし、スターピープル達の状況もさらに悪化してきました。

本来は善良で理性的なスターピープル達の種族にも「闇の創造主」達は、ダークピープルの遺伝子を入れ込んだのです。

その為にスターピープルの中にも、エゴが目覚め自己中心的な考え方をするスターピープル達が表れ始めました。

彼らは、スターピープルの中の規範に従わず、自分勝手な行動をとり始め、いつしかダークピープル化していきました。

ダークピープル化した者達は地球の物理世界に残り、一部は人間と一体化して地球を支配する権力構造を作っていたようです。

私達が地球のアセンションのために活動している時も、このダークピープル達には本当に悩まされました。

今までの地球においては、スターピープル達よりもダークピープル達の方が、地球の物理次元や人間たちに密着しており、地球人をコントロールして、地球のアセンションをことごとく妨害してきたからです。

時には、私や恵理さんも大打撃を受け、生命の危機を迎える時さえもありました。

特に、今の地球の支配者構造を担っているオリオン星人やアルクツールス、闇のナソール人達も、この時にダークピープルに変わっていったようです。

地球人は、遺伝子操作を受けてしまったために、この時代以降もアトランティスとレムリアの争い、そして古代エジプト時代のファラオ同士の争い、近くでは数度にわたる世界大戦など、古代から今に至るまで常に権力争いのための戦争を続けてきました。

そしてその争いは宗教戦争や経済侵略などにも姿を変えて、常に人類の歴史を闇の世界へと導いていったのです。

このことも、すべて「宇宙に闇をもたらす創造主」達が、地球人が進化しないように企てた計画です。

本来、地球人を進化させてスターピープルを生み出すためのアセンションを何度も失敗させて、地球人を進化させないばかりか、新たな地球人を生み出す計画に携わったスターピープル達の遺伝子を操作してダークピープル達を生み出し、彼らにこの地球を支配させたのです。そしてその争いは地球だけでなく天の川銀河全体にも広がっていきました。

このことが明るみになると「第23評議会の創造主」は、「宇宙に闇をもたらす創造主」が行ったことは創造主としてあるまじき行為だと判断して、地球人やスターピープル達の遺伝子を適正な状態に戻すことを決定しました。

しかし、地球人やダークピープルの中でも、自分達が好んでそのような立場についている人の遺伝子は修正のしようがないと伝えてきました。

あくまでも、自分の意志で本来の地球人やスターピープルに戻りたいと考えている人は、遺伝子の操作を受けなかった状態に戻してくれることになっています。

PART3 捕らわれた古代種族の解放

私達がチベット在住の方の「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントをおこなっている時、とてもユニークな種族達のスピリットが出てきました。

この種族は、ハイブリッドの地球人が生み出された時に、彼らのお世話をする為に生み出された種族のようですが、その種族のほとんどのスピリットが「紫ピラミッド」のダークピープルによって捕えられているようです。

彼らのスピリットは「紫ピラミッド」の奥深い場所に隠されていました。

私達は、光40%台のスターピープル達にも手伝ってもらい、その場所を探索して彼らのスピリット達を探し出し解放していきます。

私はこの種族の事について「第 23 評議会の創造主」に尋ねました。

「TAKESHI さん、この種族はこれから地球に生まれるハイブリッドの地球人を支えるために新たに作られた種族です。

地球人の遺伝子を中心に作られていますので、さほど進化しているわけではないのですが、ハイブリッドの地球人に比べると、地球の環境に対する適正力が高く肉体もしっかりしています。

やがてハイブリッドの地球人との間に子孫が作られてきたとき、ハイブリッドの地球人も地球環境に適応した種族となることが出来ます。

そしてこの種族は、とても愛情深くて地球の意識とも深く繋がっている種族ですので、ハイブリッドの地球人を支えていく事となるでしょう。」

私は、そのような目的で生み出された種族達のスピリットが捕えられていたことに関して尋ねます。

「そのような目的で作られた種族であれば、「宇宙に闇をもたらす創造主」や「闇の創造主」達が放っておくわけがないと思います。

彼らは、ハイブリッドの地球人が、地球環境に適応して進化する事を妨げるために捕えられたのでしょうか。

そして、この種族は、自らのスピリットが捕えられているために、自分達の目的を果たす事なく、何度も転生を繰り返すうちに、ただの地球人になっていったという事でしょうか。」

「第 23 評議会の創造主」はうなずきながら答えます。

「その通りです。

私達も、突然この種族達がいなくなって、どうしたのだろうと探したのですが、物理世界の奥深い場所に隠されたようで、見つける事ができませんでした。

「宇宙に闇をもたらす創造主」によって隠されたのであれば、それも仕方がない事です。」

今回発見された種族は、スピリットの一部が捕えられたまま何度も転生してきているので、もう通常の地球人と変わらない状態になっていますが、心の奥深くに、長い間捕えられていたことに対する怒りや憎しみが渦巻いているようです。

私達は大天使達にお願いして、感情のクリアリングをしてもらうことにしました。

第2章 紫ピラミッドを作り上げた種族

PART1 天の川銀河のスターピープルを育ててきた種族

現在、天の川銀河の種族は、同じ星の種族でもスターピープルとダークピープルに分かれてしまいました。

そして星々に住む人々の進化と成長を見守るスターピープルと人々の進化を妨害して彼らを支配しようとするダークピープル達の争いが、様々な星で長い間続いています。

天の川銀河には、古来からいくつもの素晴らしいスターピープル達の種族が活躍していました。

その中でも、もっとも古い種族がリラの種族だと言われています。

リラの種族は、もともと天の川銀河の出身ではなく、他の銀河から天の川銀河に移り住んできた種族でした。

非常に素晴らしい叡智とスターピープルの資質をもっていたので、彼らによって天の川銀河の多くの種族が影響を受け、優秀なスターピープルとして育っていったのです。

そしてリラの種族は、ある時、自分達が拠点としていた星を科学技術の事故により失ってしまいました。

リラの人々は、いくつかのグループに分かれ、シリウスやおうし座のペテロギウス、アルクツールズ、プレアディウスに移住することになりました。

リラの人々は、移住先の星々でその星の人々に同化し、一つになっていきましたので、リラの純粋な種族は一部のグループを除き、いなくなってしまうました。

しかし、リラの人々がその星の人々に同化することによって、その星のスターピープル達は飛躍的な進化を行い、天の川銀河を代表するスターピープル達になっていたのです。

そしてそのようなスターピープル達が地球に集まり、天の川銀河のスターピープル達を統合するような素晴らしいスターピープル達を生み出すプロジェクトを始めたのです。

しかし「宇宙に闇をもたらす創造主」達の妨害により、その計画は、今まで成功する事がありませんでした。

そして、今回の地球のアセンションを通して、ようやく天の川銀河の統合の種族である「太陽種族」が生み出される事となったのです。

私達は、「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを通して、新しい地球人の創生の秘密とそれを妨害した「宇宙に闇をもたらす創造主」やダークピープル達が行ってきた事を知ることになりましたが、「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを進める中で、今まで秘密にされていた事柄をさらに知ることになりました。

これはSさんのアチューメントを行っていた時の事でした。

新しい地球人を生み出してきたスターピープル達の受難について、いくつもの事柄が明らかになってきたのですが、今回Sさんの過去世の中であらわれてきたスターピープルは今まで会ったことがないスターピープルです。

エレナさん達も見ることがないスターピープル達で、もちろん第1評議会や第2評議会にも属していないスターピープルです。

私達は恵理さんのヴィジョンを通してこのスターピープルと話しを始めました。

「あなたは、今までにお会いしたことがないスターピープルようですが、あなたは天の川銀河の星から来たスターピープルですか。」

「いいえ、私達は天の川銀河の星に住む種族ではありません。

創造主達の依頼によって、各銀河や星団に所属するスターピープル達を指導するために存在しています。」

どうやら、かなりレベルの高いスターピープルようです。

「そのような、あなた方がどうしてこの地球の過去にいたのですか。」

「私達は、創造主に依頼されて、天の川銀河のスターピープル達を進化させるために統合の種族を作るプロジェクトの管理をすることになりました。

このプロジェクトに関わるスターピープル達を選び出し、彼らが共に協力して新しい地球の種族を生み出すことができるように見守ることが私達の仕事です。」

私達は、新しい地球人を生み出すために活躍してきたスターピープル達を数多く知っていますが、そのプロジェクトの管理者がいたことを初めて知りました。

「あなたは、かなり古い種族のようですが、天の川銀河の最初のスターピープルと言われているリラの種族とは関係があるのですか。」

「リラの種族も、私達が生み出し育ててきた種族です。
リラの種族は、天の川銀河の多くのスターピープルを生み出しました。
それが私達の目的でもあったのですが、今度はリラの種族により生み出されたスターピープル達の遺伝子を用いて、さらに高次の種族を生み出すために、この地球での活動を見守り指導することにしましたのです。」

私はエレナさんにこの話しを聞いたことがあるか、尋ねました。

「TAKESHI さん、この種族の事は、地球の歴史には載っていませんし私達も知りません。しかし、このスターピープルの話しは、一概に嘘であるとは言えないと思います。いままで、本当の歴史から消されてしまった歴史はいくらでもあります。特に今回のように、高次のスターピープル達が関わった仕事は、秘密にされることも良くあります。」

エレナさんをはじめ多くのスターピープル達が、ハイブリッドの地球人が生み出されたとき、何が起きたのか知りたいようです。

私はリラの種族を生み出した種族に尋ねました。

「あなた方ほどの高次の種族が、地球人の過去世に出てくるとは不思議な事です。一体なにが起きたのですか。」

彼女はためらいがちに話し始めました。

「私達は、本来ハイブリッドの地球人を生み出す計画には直接かかわらない予定でした。あくまでも、天の川銀河のスターピープル達が中心となって、物理世界においても新しい地球人を生み育てる予定だったのです。」

しかし、ハイブリッドの地球人が生まれ育つ予定が大幅に遅れてしまったばかりか、当初予定していなかった性格が出てきてしまったものですから、このままではこのプロジェクトが失敗すると思い、私達が直接関わることになったのです。

その為に、私達は自分達の波動を落として地球に肉体をもって活動することにしましたのです。」

「皆さんは、地球に降りてきてどのような活動を行われたのですか。」

「私達はいくつかの方法で、ハイブリッドの地球人に起こっている問題点を解決しようと思いました。

ひとつのグループは、遺伝子の問題に取り組みました。

ひとつひとつの遺伝子は、とても優秀なのですが組み合わせることによって不具合が出たのではないか、あるいは地球の基本種族の中にこのような暴力性のある遺伝子が含まれていたのではないか、もしくは地球の環境によって遺伝子が変質したのではないか。

この取り組みは、いくつかの問題を発見したのですが、最終的にハイブリッドの地球人の遺伝子を完全に修正することはできませんでした。

そしてもう一つのグループは、暴力性を発揮したハイブリッドの地球人に対する教育を行う事でした。

もちろん、暴力性を発揮する以前の子供達に関しても、特定の場所に保護して暴力性を発揮しないように教育することも行いました。」

彼女は、昔を思い出して、大きなため息をつきました。

「私は、子供達を教育する任務に就きました。

本来はとても優しく愛に満ち溢れた子供達に育つ予定だったのに、どうしてこのような事が起きたのか不思議でたまりません。

私達は、様々な方法で子供達が元の状態に戻るように工夫したのですが、彼らの暴力性は高まるばかりです。

そして、彼らがこのまま成長すると地球は大変なことになる、私達は危惧しましたが彼らの暴走を止めることはできませんでした。

彼らは、地球に降りたってハイブリッドの地球人を生み出し教育する仕事をしていたスターピープル達に反抗し、彼らに対して暴力をふるうようになりました。

そして、彼らを迫害し、地球から撤退させてしまったのです。」

「そのことは、私達も最近知りました。

非常に厳しい状況にあったと思いますが、それは全て「宇宙に闇をもたらす創造主」と彼の手下であるダークピープル達が仕組んだ事だったと分かりました。

あなた方のせいではなかったのです。」

「そうだったのですか、やはり私達の力を越えた存在が裏で操っていたのですね。しかしながら当時の私達は、そのようなことも知らず、自分達の力のなさを悔やんだものです。私達は深い悲しみと罪の意識に捕らわれてしまい、元のスターピープルに戻る事が出来ず、この地球にとどまったままなのです。」

「わかりました。皆さんのスピリットを助けることができるように創造主達にもお願いしてみましよう。」私は、この過去世に現れてきた種族の人達のスピリットを救い出すよう創造主とスターピープル達にお願いしました。

PART2 「紫ピラミッド」を作り上げた種族

前回の「6 大天使のアチューメント」で私達は天の川銀河のスターピープル達を生み出し育ててきた種族と出会いました。その種族は、地球に置いてハイブリッドの地球人を生み出す仕事をしていたのですが、上手くいかずとても大きな罪の意識をもっていました。

しかし、恵理さんは、そのセッションが終わったあとに不思議そうな顔をして私に言いました。

「あのスピリットの女性は何かを隠しているようです。あのスピリットのまわりがまるで白い壁で覆われているように何も見えなかったから、あの過去の記憶そのものが操られている可能性もあります。」創造主にこのことに対して聞いてみたのですが、何も答えません。創造主達も今調査をしているようです。

しかし、すぐにこの問題を解き明かすことが出来ました。今度は別の方のセッションをおこなっているときに、前回と同じ種族の方が出てきましたが、状況がだいぶ異なっているようです。

私達は、このスピリットの話しを聞くことにしました。

「私達は、「紫ピラミッド」のダークピープル達に長い間捕えられていました。ようやく逃げ出してきたのですが、まだ仲間達が捕えられているのです。」

どうやら、この種族は大変優秀な種族なので、「宇宙に闇をもたらす創造主」達が罾を仕掛けて、この種族を捕まえていた可能性があります。

私達が、そのような話をしていた時に、一組のスターピープル達が近づいてきました。

姿は、この種族の人達にそっくりなので、きっと同じ種族の人達が助けに来たのかもかもしれません。

私達は、そのスターピープルに事情を聴くことにしました。

「皆さんは、リラ族をはじめ天の川銀河のスターピープル達を生み出し育てた種族ですか。そして、地球のハイブリッド地球人を生み出すことを指導した種族ですか。」
スターピープルは恵理さんのヴィジョンの中にしっかりと姿を現して答えました。

「その通りです。」

私達の仲間達がこの地球に入り、ハイブリッドの地球人を生み出す計画を指導していました。しかし思わぬ事態が起きてしまい、私達は長い間彼らを救出しようと努力を続けていたのですが、彼らを救出することができませんでした。

しかし今回、皆さんが「宇宙に闇をもたらす創造主」達を、皆さんの宇宙から退けたことで、私達にも希望が出てきました。

私達の事は、ミモーレ族とお呼びください。」

ミモーレ族のリーダーは私達に丁寧にあいさつをしました。

「ミモーレ族のリーダーよ、私達こそ、ミモーレ族の方々が天の川銀河のために貢献してくださったのに、かえって「宇宙に闇をもたらす創造主」に捕らわれてしまい、大変な迷惑をかけてしまいました。

本当に申し訳ありません。」

「いえ TAKESHI さん、問題はそれほど簡単ではないのです。」

私はミモーレ族の言葉に、戸惑いました。

「TAKESHIさん、私達の調べでは「宇宙に闇をもたらす創造主」は、私達の仲間を利用するために様々な罠を仕掛けたようです。

まず、我々の仲間達が、ハイブリッドの地球人の成長が遅く暴力的になった事で、その原因を調べるために直接地上に降りたのも、「宇宙に闇をもたらす創造主」による罠だったのです。

「宇宙に闇をもたらす創造主」達は、ミモーレ族が肉体をもって地上に降りることができる事を知っていて私達をおびき寄せたのです。

そして、ミモーレ族に意識コントロールを行い、自分達の仲間を引き込んでいったのです。ミモーレ族は、並外れた能力と知力をもっていますので、他のスターピープル達では足元にも及びません。

そして、ミモーレ族の遺伝子に少しずつダークピープルの遺伝子を入れ込み、闇のミモーレ族を作り上げてしまったのです。」

私達は、あまりにも意外すぎる話に驚きました。

「それで、闇のミモーレ族は、この地球で何をしたのですか。」

「地球に降りたスターピープル達の遺伝子を操作してたくさんのダークピープルを生み出し支配したのです。

いつの時代でも、この地球の支配階級を裏で操り、争いと支配を行っていました。

「紫ピラミッド」の原型を作ったのも闇のミモーレ族ですし、現在も「紫ピラミッド」のダークピープル達を通して、皆さんの宇宙を統治しています。

「すると私達が何度かであったあの巨大ダークピープルが、もしかしたら闇のミモーレ族だったのですか。」

「残念なことに、私達の仲間のなれの果て、といっても良いでしょう。

勿論、「宇宙に闇をもたらす創造主」達に利用されることを嫌って逃げ出した者達もいましたが、闇のミモーレ族に捕えられて、「紫ピラミッド」の中に閉じ込められてしまいました。先ほどのスピリットもそうです。

私達は、仲間達を出来る限り救出するとともに、闇に落ちたミモーレ族が行ってきた事を修復したいと思います。」

私達は、このミモーレ族の言葉に大きな衝撃をうけました。

天の川銀河のスターピープル達を進化させ統合の種族を作るために地球に遣ってきてくれたミモーレ族の人達が、「宇宙に闇をもたらす創造主」達によって利用され、ダークピープルを生み出し進化させる働きをさせられていたとは驚きです。

そして、地球の支配階級をつくり「紫ピラミッド」を生み出したのも、彼らだったとは考えもしませんでした。

確かにこのような過去があったのであれば、正しい歴史からその事実を抹消されても不思議ではありません。

しかし、天の川銀河のスターピープルを生み出したミモーレ族が多くのダークピープル達を生み出し、「宇宙に闇をもたらす創造主」達が天の川銀河を支配する手伝いしていたとは、あまりにも悲惨な話です。

たとえどれほどすぐれたスターピープルでも、闇の創造主達にはかなわないという事でしょうか。

私は「第23評議会の創造主」にこの事を尋ねました。

「創造主よ、このミモーレ族に関わる事はご存じだったのですか。」

「TAKESHIさん、確かにミモーレ族をこの地球に派遣したのは、私達創造主です。

天の川銀河の新たな種族を生み出す事で、スターピープル達の進化をおこなおうとしたのですが、私達も予期せぬことばかりが起きて、その修復が出来ないまま、このプロジェクトは中止になりました。

そしてその時中心的なメンバーとして、このプロジェクトの監督を行っていたミモーレ族の多くが行方不明になってしまったのです。

私達も、ミモーレ族を探そうと試みたのですが、そのころから地球は闇が広がりその内部までは見通すことが出来なくなっていました。

これは、私達にとっても大きな過ちの一つです。

この当時は、私もまだ若く、今ほどの力を持っていませんでしたから「宇宙に闇をもたらす創造主」達が、私達の宇宙に関わっていた事を察知する事はできませんでした。」

「ということは、「宇宙に闇をもたらす創造主」達の処理が出来た今だからこそ、彼らが行ってきた事を暴き出す事が出来たという事ですか。」

「その通りです。

今迄の地球の歴史そのものも「宇宙に闇をもたらす創造主」達によって作られたものですが、私達が見ることが出来た地球の歴史とは大きく異なっています。

私達は今まで「宇宙に闇をもたらす創造主」達によって別に作られた偽りの歴史を見せられていたのです。」

エレナさんをはじめ第1評議会のスターピープル達はため息をついています。

ハイブリッドの地球人を育成する計画を粉々に打ち砕いただけでなく、ダークピープル達によって地球人を支配する基盤を作ったのも「宇宙に闇をもたらす創造主」達ですし、そのために自分達の親のような存在であるミモーレ族が利用された事を知って悲しまないスターピープル達はいないでしょう。

しかし、そう悔やんでばかりもいられません。

仲間を助けに来たミモーレ族と共に、「紫ピラミッド」の中に入り、助けを求めている者達を救出に行かなければなりません。

私達は、レベルの高いスターピープル達に協力してもらい、紫ピラミッドの中に入り、捕らわれたミモーレ族を救出に行きました。

そのあと助け出されたミモーレ族は、仲間と共に自分達の世界に帰っていきましたが、もうすでに私達の宇宙のダークピープルになり切っている者達は救いようがないようです。

ミモーレ族のリーダーはしばらく地球に残り、彼らの様子を見ながら、闇のミモーレ族が行ったことの修復を私達と共に行うようです。

PART3 人々の魂に仕掛けられた罠

PART1 人々の魂に仕掛けられた罠

私達が「6大天使の光のピラミッド」のアチューメントを初めて2週間ほどが過ぎました。最初の2週間は、地球の古代、ハイブリッドの地球人が生み出された頃の大変な歴史を私達に見せてくれましたが、そのことが解決すると、また新たな問題が浮かび上がってきました。それは、アチューメントを受ける皆さんの魂が捕えられている場所が明るみに出てきたのです。

最初は、アチューメントを受けてくださる人のスピリットの統合を行うために奪われたスピリットを探していたのですが、私達はとても暗く深い闇の中に導かれ、そこにたくさんのスピリットが捕えられている事に気付きました。

しかし、よく見るとそれはスピリットではなく、もっと現実的な意識に近い「魂」達だったのです。

私には、スピリットと魂の見分け方が分かりませんが、恵理さんはすぐに見分けがついたようです。

私達は、この場所に捕らわれている魂を助け出し、その人のもとに連れ帰ったのですが、不思議なことにその人の魂だけでなく他の存在も一緒についてくるのです。

それはまるで憑依霊のようにその人の魂にぴったりと寄り添い、まるでその魂が自分の物であるかのように主張するのです。

この存在の影響で、大天使達の光がブロックされ、その人のもとに届きません。

たとえばKさんの場合は、過去世で自分の子供達だった存在です。

Kさんの家族は、流行病にかかり、家族が次々と病に倒れていきました。

子供達は病にたおれたKさんにすがって泣いています。

まだ、小さい子供ですので、親を失うことほど辛いものはありません。

共に亡くなった後も、自分の親を失いたくないという気持ちでKさんにとりついているようです。

Mさんの場合は過去世での母親です。

愛する娘を心配するあまり、娘と他人との関係を全て断ち切り、娘を自分だけの世界に閉じ込めてしまったのです。

過保護といえればそれまでですが、その思いが今世の彼女の行動にも影響を与え、人と関係を持つことがとても怖いと感じるようになりました。

そしてこの母親の娘を独占したいという気持ちは、天使たちのサポートさえも跳ね除けます。私達もこれはおかしいと思い良く調べると、その母親的な存在は、彼女に執着するあまりに彼女の魂に憑依する霊的存在となっていたのです。

私達は、大天使アズラエルを呼び、娘に執着する母親を死者の世界へ連れて行ってもらいました。

Yさんの場合は、愛する男性との仲を裂こうとする恋敵の女性でした。

Yさんの過去世でYさんの結婚相手である男性を好きになった女性が、Yさんの事を憎み激しい憎悪の念をYさんに向けているのです。

その女性は、そのあとも何回かの人生でYさんを憎み続けて彼女の幸福を邪魔しようとしています。

このままでは、大天使達が彼女をサポートすることもできません。

私達は、この女性も大天使アズラエルに死者の世界に連れて行ってもらいました。

私達はこのような事が何回も続くと、これは通常の状態ではないな、と思い始めました。単なる憑依霊にしては念の力が強く、大天使達も手におえないという事はないからです。

つまり、この場所に捕えられた人々が精神的に目覚めないように、その人に対して強い感情を持つ人をわざと憑依霊のようにくっつけて監視しているのではないかと思ったのです。

ちょうどその頃、「紫ピラミッド」のダークピープルである魔道士たちが私達にサイキックアタックをかけてきていました。

先日のミモーレ族をはじめ、光を持った人々を「紫ピラミッド」から救出していくので怒っているようです。

彼らは光を持った人々のエネルギーを自分達の活動源としていますので、その活動源を奪われてしまうと力を失ってしまうのです。

この魔道士たちは非常にサイキックな能力が高く、私達の体に対しても直接痛みを与えてきますし、私達のシェンロンにもダークドラゴンをけしかけて戦わせています。

そして先日は、私達の中の良い友人が旅行に行った時、魔女と関係する場所に導き、彼女を通して闇のゲートを開いてきたのです。

そのゲートは、とても闇が深く、ゲートに触れた人のスピリットを闇の世界へと導く働きをもっていました。

私達のスピリットの一部も危うく闇の世界に引きずり込まれそうになったのですが、スターピープル達の力で助け出されました。

私達は、今度はこのゲートを使ってその奥にいる存在達を調べることにしました。

光 50%と光 40%のスターピープルと大天使達で連合チームを作り、ゲートの中に入っていきます。

すると「紫ピラミッド」に所属するサイキックな力を持ったダークピープル達がたくさんいます。

おそらくアルクツールス系のダークピープルではないかと思われませんが、魔道士や魔女たちの格好をしています。

そして今回のように様々な罠を仕掛けたり、スピリチュアルやヒーリングの能力や特別な力が欲しいと思っている人達を自分達の仲間に取り込んでいっているようです。

私達が入っていくと彼らも驚いたようですが、おそらく予測していたようで、激しい争いが繰り広げられました。

彼らのネガティブなエネルギーに満ちた魔力をスターピープル達は愛の光で跳ね返しなが
ら、ダークピープル達を捕まえていきます。

私達は、たくさんいる魔道士の中でも、このグループのリーダー的存在に目を付けました。
そのリーダーは「宇宙に闇をもたらす創造主」の力をまだ持っていたからです。
すぐに「第23評議会の創造主」がやってきて、ダークピープルのリーダーから「宇宙に闇
をもたらす創造主」の力を抜き取りました。

私達は、このダークピープルのリーダーをとおして、他にこのグループを指導している者が
いないか探しました。

すると、驚いたことに「宇宙に闇をもたらす創造主」から生み出された創造主が姿を現しま
した。

その姿をみると、「第23評議会の創造主」は緊急事態の指令を創造主達に出しました。
もうすでにいなくなったと思っていた「宇宙に闇をもたらす創造主」から生み出された創造
主が残っていたとは大変な事態です。

私達に隠れて、ダークピープル達を操り、アセンションの妨害をしていた事は間違いな
いでしょう。

「第23評議会の創造主」は、すぐにこの創造主を捕まえて調べました。

「TAKESHIさん、この創造主は、一度光に帰った創造主なのですが、先ほどのダークピー
プルが、時代を遡って、今の時代に連れてきたようです。

おそらく、この魔道士軍団に力を与えていたのは、この創造主でしょう。

調べたところ、ダークピープルが連れてきたのは、この創造主一人のようですが、私達はも
う少し詳しく調べたいと思います。」

そう言って「第23評議会の創造主」は姿を消していきました。

しかし、彼らもなかなか妨害の手をゆるめません。

「紫ピラミッド」のダークピープルが創造主に隠れて行ってきた事が、「宇宙に闇をもたら
す創造主」がいなくなったことでどんどん明るみに出ています。

この魔道士達は、「紫ピラミッド」の中でも特殊な力を持ったグループですので、まだまだ
隠れていることが多いようです。

そしてそれが、創造主達にばれないように、私達にすさまじい攻撃を仕掛けてきているのですが、彼らを裏で支えていた創造主が捕まったので、彼らの反撃も少なくなる事でしょう。

「宇宙に闇をもたらす創造主」から作られた創造主が光に返されたことで、人々の魂を捕えている場所にも変化が表れてきました。

Kさんのアチューメントを行っていた時に、まるで年老いた霊能力者の女性とヨーロッパの魔法使い、それも男性の魔道士のような存在が出てきたのです。

彼らは、魔道士の仲間達と共に、光を持った人々や精神的に進化をしていこうとする人々に取り付き、その進化を妨げ光を奪い続けるために、魂をこの場所に捕えていたのです。

そして、捕らえた人々を常に見張るために、その人と深い感情的なつながりがある人を過去世の中から選んで憑依させていました。

その憑依霊は、あたかも、その人のガイドや親しい家族の姿をして表れていますが、その本質は憑依した人から光を奪い、闇の世界に閉じ込めることだったのです。

彼らに取り付かれた人は、自分の人生がうまくいかないばかりか不幸な事柄が起きています。あるいは、特別な能力が生まれてお金儲けができるようになりますが、あとで大きな代償を払わされることとなります。

私達は、大天使アズラエルにお願いして、アチューメントを受けてくださる人に対して憑依している存在を死者の世界に連れて行ってもらいました。

この憑依している霊も、その人や地上の世界に未練を残して成仏できないでいるところを「紫ピラミッド」の魔道士たちにつかまって、利用されているのです。

この魂がとらえられている場所は地上で生きている人が住む世界と死んだ人が行く黄泉の世界のちょうど中間にある浮遊霊達の世界です。

私達の魂がこの場所にとらわれると、現実世界でもしっかりと生きていくことができなくなります。

そして、自分の願っている人生からどんどん遠ざかり、やがては「もう死にたい！」と思う人も出てきます。

あるいは、最近よく起こっている無差別殺人事件のように、社会や他人に対する大きな怒りに襲われて自分自身をコントロールすることができなくなるのです。

光が多い世界に行こうとする人は、最低限、この場所から自分の魂（魂の一部）を救い出していかなければなりません。

魂は、スピリットと人間の意識をつなぐ大切なものです。

魂がたとえ一部でも、闇の多い世界に捕えられていたなら、自分のスピリットの意識やエネルギーと人間としての意識が波長を合わせることができなくなります。

この「6 大天使の光のピラミッド」というアチューメント（ヒーリング）で、私達は皆さんのスピリット同様、魂も救い出すことになりました。

しかし一つ大切なことは、私達が皆さんの魂をとらわれている場所から救い出したとしても、皆さんが自分の力で自分自身を成長させ、光が多い世界に歩もうという意識がないと捕らわれた魂は皆さんのもとに戻っていくことができません。

いつまでも人に依存した生き方をしていたり、お金儲けが目的のヒーラーさんからヒーリングやスピリチュアルな施術を受けたりしていても闇の中にとらわれた魂は、あなたのもとに戻ってくることはできません。

あなた自身が現実世界をしっかりと見定め、自分らしい生き方を心がけることが必要です。

PART 3 死者の魂を捕える黄泉の世界の罟

私達が、皆さんの魂の救出を行っていた頃、恵理さんが不思議なヴィジョンを視ました。それは7月に入ってから度々見ていたヴィジョンなのですが、私の父の右足から紐みたいなエネルギーが入り込んでいるヴィジョンです。

この時も、私の母から父の様態があまり良くないから、という電話があった直後にそのヴィジョンが見えてきました。

私の実の父は、この数年間、体調がわるくずっと入院していました。

医者からも、3回ほど、もうだめだよ、と言われたのですが、驚異的な回復を見せ、90歳を過ぎた今でも生きています。

そして今は、私達が里帰りした時に、美輝と会うのをとても楽しみにしています。

父のスピリットはアンドロメダ座の宇宙船の艦長をしていたスピリットで宇宙の平和のために大きな貢献をして来たスピリットです。

父が地球人として生きてきたのは、私を生み、さらに太陽種族として生れてくる子供達を無事見守る役目を果たすためだったようです。

私達は、度々現われてくるそのヴィジョンが気になりスターピープル達に調べてもらいます。暫くするとフレッドがやってきて報告してくれました。

「TAKESHIさん、また大変な仕掛けが表に出てきました。

この紐のようなエネルギーを調べたところ、これは死にゆく人の魂を光40%台中ごろの世界に引き止めるための物でした。

つまり、肉体が死んで魂が肉体を離れようとするときに、その魂が死者の世界に行っても必ず光40%台中頃の世界に戻ってくるように、魂を拘束するためのエネルギーだったようです。これでは、地球人が自分に相応しい世界に生まれ変わることは不可能です。」

「すると、良くスターピープル達が、今世では光の世界に行けなかったとしても、肉体を捨てて、魂となって光の世界に行く事が出来る、ということ度を言っていました、これでは魂となっても、光の世界にはいけないという事でしょうか。」と、私は尋ねました。

「残念ながらそのようです。」ロッド星人もやってきて答えてくれます。

「私達も、今の地球人はネガティブな感情や欲望に満ち溢れていますので、今の意識のままでは光が多い世界に入っていく事は不可能ですが、一度人間として死んだ後は、純粋な魂の状態となり、光の世界に入っていく事が出来るだろうと確信していました。」

しかしこの紐のようなエネルギーは、人々の魂をしっかりとらえていますので、このままでは魂やスピリットは、自分の望む場所に行くことができません。

次回も、光40%台中ごろの世界に生まれ変わってくることでしょう。

本来ならば、自分が元いた星々や世界に帰らなければならないスターピープル達も、この世界に閉じ込められてしまうことになります。」

これでは地球人が生まれ変わってもアセンションできるはずがありません。
それどころか、地球にサポートに来てくれたスターピープル達も、アセンションするどころか、自分がいた星へも帰ることが出来なくなっています。

私はアシュタールのエレナさんと呼んで聞いてみました。

「エレナさん、地球に降りたスターピープルの中には、この罨によって、自分達の星に戻る事が出来なくなったスターピープル達もいるのですか。」

「確かに、このような罨があったのでは、自分達の星に帰ることができません。
第1評議会のスターピープルの中には、特別な目的をもって地上に降り立ったスターピープル達がたくさんいますが、その多くの者達が戻ってきていないのです。
彼らは、まだ地球でやりたいことがあるから、というので自分達の意思で地球にのこっているのだと私達は思っていました。
しばらくすると、彼らと連絡が取れなくなり、地球人としての人生を彼らは歩んでいるので、おかしいな、と思っていました。
それが、この罨によるものだと分かり、私達も納得しました。
これは、創造主レベルで解決して下さると思います。」

私は、第21評議会の創造主を呼びだしました。

「創造主よ、
今回の問題はどうか考えてもルール違反であり重要な犯罪であると考えますがいかがでしょうか。」

創造主も、この様子を見て困った顔をしています。

「もちろん、死にゆく人の魂の自由を奪うことは絶対にしてはいけないことです。
本来、人間として生きた後、多くの学びを経て魂は成長するものです。
そして、生まれ変わるタイミングで成長した魂に見合った世界に移されることになっているのですが、これでは魂が何度生まれ変わっても、同じ世界にとどめられ、それ以上成長することができません。」

しかも、彼らは、人の魂が成長しないように憑依霊までつけて監視しています。
これは、地球人の魂を、光40%台の中ごろに閉じ込めて地球のアセンションを妨害するため

の仕掛けだと思えます。」

「この仕掛けを作ったのは、やはり「宇宙に闇をもたらす創造主」でしょうか。」

「そう考えても良いともいます。

この仕掛けはかなり前から存在しているようですので、彼らがいなくなったとしても「紫ピラミッド」のメンバーたちによって利用され続けているようです。

私達はこの仕掛けを即刻取り除きたいと思えます。」

そのようにいうと創造主は大きな光をはなれて消えていきました。

今回の事は、私の父がこのような仕掛けがある事を、自分の身をもって知らせてくれたようです。

父のスピリットは優秀なアンドロメダのスターピープルでしたので、過去 2 回死にかけたときも、この罠の事を知って、私達がこの罠を解き放つことができる時まで、生き続けたのではないかと思います。

もし父がいなければ、死にゆく人の魂を捕える罠を解き明かす事はできなかったかもしれません。

そうなれば、光 40%の世界にいる人は何度生まれ変わっても光の世界に行けない事になります。

しかし、人の魂を見張る憑依霊たちや特殊な能力を持つ人達を監視する魔道士達、ヒーリングやスピリチュアルな活動を行う人達の魂を捕える魔道士達など、様々な存在が黄泉の世界や浮遊霊の世界に潜んでいます。

そして人々の成長を阻害し地球のアセンションを妨害していたのです。

第4章 愛で統一された宇宙のスターピープル達の受難

PART1 捕らわれていた「愛で統一された宇宙」のスターピープル達

私達は「6大天使のピラミッド」のアチューメントを行っているときに、体の重さを今までよりも感じています。

その理由をスターピープルに聞くと、これは「6大天使のピラミッド」のアチューメントのために、私達が光40%台前半から中ごろの世界に入っているからです、という答えが返ってきました。

その為に、私や恵理さんのエネルギーと波長が合わず、私達の体に痛みや重たさが出ているようです。

そしてその世界にいるダークピープル達と直接接触しているので、私達の生活や仕事にも、この世界の闇のエネルギーが流れ込んできて、さまざまな問題が生じています。

しかし本来は、「6大天使のピラミッド」は、光が多い世界に行く人々の問題を解決して、その人を光が多い世界へ導くことが目的ですから、光40%台前半の世界にいる人達に行く必要はないような気もするのですが、何からの事情があるのかもしれませんが。

私は、「6大天使のピラミッド」を行うことを計画している第21評議会と第22評議会の創造主にその理由を聞いてみました。

創造主は私達のもとに来てくれて答えてくれたのですが、かなり困難な事情が起きているようです。

「TAKESHIさん達には、まだ秘密にしていることがたくさんあって申し訳ないのですが、現在「愛で統一された宇宙」から、地球に送られてきたスターピープル達が全員行方不明になっているのです。

私達も、様々な場所を探しているのですが、TAKESHIさんたちに、現在、浮遊霊達の世界に行ってもらっているのですが、その場所に隠されているという情報があるのです。」

やはり「6大天使のピラミッド」のアチューメントの裏側で、そのような事が行われていたようです。

私は、「愛で統一された宇宙」から、私達の宇宙のアセンションをサポートしに来てくれているスターピープル達のリーダーであるビルを呼び出して事情を聴きました。

ビルも、まだ全ての事を私に言うことはできないようです。

私に伝えると、私の意識をハッキングしているダークピープル達に、創造主やスターピープル達が行っていることがすべてばれてしまうからです。

「TAKESHIさん、言いにくいことなのですが、地球のアセンションがさらに遅れてしまっているのです、私達の宇宙から多くのスターピープル達が、地球に入り、地球人としての肉体を持って地球のアセンションをサポートすることになったのです。

そして7月の初旬頃から地球に入り、時代をさかのぼって地球人として生まれてくる予定だったのですが、

その仲間達の行方が分からないのです。」

これはとても大変なことです。

「愛で統一された宇宙」は、私達のアセンションが遅れているにも関わらず、私達の宇宙のアセンションを助けるために、私達の宇宙との間に「アセンションの扉」を開き、私達をサポートしてくれている宇宙です。

その宇宙のスターピープル達は、とても強い「愛の光」を持っています。

私達が、もっと愛に目覚め、地球人として進化していくために、私達の宇宙に関わってくれています。

そのようなスターピープル達が、地球に入ってきた途端に行方不明になってしまったという事は、「宇宙に闇をもたらす創造主」達のグループに捕えられてしまった事は明白です。

私達の進化のサポートのために来てくれている恩人達をすぐにでも助け出さないと、私達の宇宙の責任は多きな物となってしまいます。

ビルが言いました。

「しかし何故、私達の種族の者達が地球に入る時間や場所などを、これほど正確に知ることができたのか、不思議なのです。

私達は時をさかのぼって、様々な時間や場所などに入っていったのですから、すべての者達が捕えられるということは無いはずなのですが。」

私達は、「6 大天使のピラミッド」のセッションを通して、浮遊霊の世界によく行っていたのは、この「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、この場所に捕えられていないか、創造主達が探索を行うためだったのです。

そうすると、私達も協力しないわけにはいきません。

スターピープルや創造主が、探索しやすいように、私の意識をこの人間の世界と黄泉の世界の中間にある浮遊霊の世界（迷いの世界）に拡散することにしました。

私の意識は、浮遊霊の世界に解き放たれ、まるでビデオカメラが様々な場所を映し出すように浮遊霊の世界を巡り始めました。

すると闇と闇の間からかすかな光が漏れている場所があります。

私達がそこに近づいていくと、たくさんの浮遊霊達が私達の行く先を遮ろうとします。

私達は浮遊霊たちを押し分け、光が漏れている場所に入っていくと、そこには大勢の「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、無残な姿で横たわっています。

肉体を持っていないので、死んでいるわけではありませんが、スピリットの光を浮遊霊達が争いながら奪い合っているようです。

そのあまりの悲惨な光景に私達は目を覆いたくなります。

スターピープル達がすぐに大きな光を放ち、浮遊霊達を退けると、大天使達とスターピープル達が協力して「愛で統一された宇宙」のスターピープル達をこの場所から運び出します。彼らは創造主のもとに運ばれ治療を受ける必要があるようです。

私達は、さらに私の意識を拡散して同じような場所を 3 か所ほど見つけ出し「愛で統一された宇宙」のスターピープル達を救出することができました。

そしてさらに探索を続けると、浮遊霊の世界のもっとも奥まったところに、たくさんの浮遊霊と魔道士たちが集まっている場所を見つけ出しました。

そこにもたくさんの「愛で統一された宇宙」のスターピープル達がとらえられているようですが、あまりにも浮遊霊とダークピープルや魔道士たちが多くて簡単には近づけません。

しかし「第23評議会の創造主」が私達を助けるために光を送ってくれました。浮遊霊とダークピープル達はその輝きにひるんだすきにスターピープル達が、彼らの包囲網を突破して、その奥にある闇の神殿のような場所に入り込みました。

そしてその中に、今までよりもはるかにたくさんの「愛で統一された宇宙」のスターピープル達を見つけたのです。

憑依霊やダークピープル達は、その場所が見つけられたくなくて、私達にもサイキックアタックをかけてきたのですが、ついに見つかってしまったので、あわてて逃げ出していきます。スターピープル達は、逃げていくダークピープル達には目もくれず、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達の救出に入りました。

私達も中に入ろうとすると、創造主に止められました。

「TAKESHIさん、恵理さん、本当にありがとうございました。ここは私達が行いますから、皆さんはもう休まれてください。」

私達は、ここで戻ることにしましたが、どうも、この中に閉じ込められている「愛で統一された宇宙」のスターピープル達のあまりにも悲惨な姿を私達に見せたくなかったようです。それは、私達の心に深い傷を残すほどの悲惨な状態だったと、あとでスターピープル達が伝えてきました。

PART3 浮遊霊の世界の隠された場所

昨日、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達のリーダー達を救出することができて、多くの仲間達はその再開を喜んでいましたが、多くの者達が光を奪われ、あまりにも過酷な状況に置かれていたために、彼らはすぐに「愛で統一された宇宙」に戻ることができず、創造主やスターピープル達によって、手厚い看護を受けています。

しかし、リーダーの話では、すべての仲間達が戻ってきたわけではなさそうです。まだ、この浮遊霊達の世界や黄泉の世界の奥深いところに仲間達がとらえられているようです。

翌日は、Hさんの「6大天使のピラミッド」のアチューメントでした。Hさんはまだ若い女性ですが、社会になじめず引きこもり気味の生活を送っていました。

アチューメントが始まると、私達はHさんの魂が捕らわれている場所を探すために浮遊霊の世界に入りました。

ここは、私達人間が生きる世界と死者達が行く黄泉の世界の間の世界ですが、私達の現実世界を取り囲むように広がっている場所です。

Hさんの魂は通常の見つかりません。浮遊霊の世界をずっとたどっていくと、大きな崖のようなものが見えてきました。とても高さのある崖ですが、私達はその崖の底に何かがあるのか気になって崖を降りてみることにしました。

すると崖底のくらい場所にいくつかの集落のようなものが見えます。そこに入ると、さらに奥にまるで中国の宮殿のような華やかな建物が見えるのです。

その近くに行くとHさんの魂が見つかりました。そして多くの憑依霊達に取り囲まれて捕まっているのがわかります。いくつかの憑依霊は大天使アズラエルの力によって、死者の世界に帰すことができたのですが、一体だけ帰っていかない憑依霊がいました。

Hさんに憑依しているその霊は、強力な力を持った中国の皇帝の霊でした。その当時のHさん親子はこの皇帝のもとで陰陽道の元となるような祈りや呪いを行っていました。

Hさん親子は、皇帝の健康を守ったり未来予測をするだけでなく、皇帝を蹴落としてその座を狙っている者達や自分の国と戦争をしている国の皇帝たちを呪い殺すように命じられていたのです。

皇帝の言うことを聞かなければ、Hさんの娘を殺すと脅かされ、Hさん親子は仕方なく皇帝の命令に従って多くの人々に呪いをかけました。

Hさん親子は、やがて自分達が行った事の罪の深さに耐え切れず、お互いの胸を剣で刺し自殺しました。

その後、この皇帝は他の者から殺されてしまったのですが、それもすべてHさん達が自分を裏切ったからだとしてHさん達を逆恨みして、長い間Hさん親子に付きまといました。

Hさん達親子は、この時の罪により、彼女たちの魂を浮遊霊の世界に閉じ込められたまま、生きてきました。

皇帝の霊は大天使アズラエルが死者の世界に連れて行く事で、Hさん達にかけられた呪いもとけ、Hさん達の捕らわれていた魂も戻りました。

私達は、Hさんの魂を自由にすると、奥にある中国の宮殿のような建物が気になります。もしかしたら、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、この場所にとらわれている可能性もあります。

私達はすぐにスターピープルや大天使、そして明王達を呼び、この宮殿に向かいます。すると、宮殿から一斉にダークドラゴンや闇の魔道士たちが飛び出してきて、私達に向かってきます。

ここは古代中国の魔道士となったダークピープル達が守っている場所のようです。まるで中国のキョンシー映画に出てくる不気味な連中もたくさん群がっています。

ここは、浮遊霊の世界の中でも最もたちの悪い連中が集まっているようです。ダークドラゴンと私達のシェンロン達が空中で激しくぶつかり合います。ダークドラゴン達が地響きを挙げて落下してきます。

スターピープル達もドラゴン達の間を潜り抜け、魔道士たちと戦っているようです。スターピープル達は、魔道士が繰り出すネガティブなエネルギーに愛の光で対抗していきます。

そして宮殿に向かう道を確保すると、他のスターピープル達が宮殿の中に流れ込んでいきます。

すると予想どおり、宮殿の中にもたくさんの「愛で統一された宇宙」のスターピープル達にとらえられていました。

彼らは、魔道士たちや浮遊霊達のエネルギー源にされていたようです。尊い光を奪われ傷ついて立ち上がることもできず、床に倒れています。もし、彼らが肉体を持っていたなら、きっと助かる事はなかったでしょう。

もし、私達が見つかる事ができなければ、彼らはこの場所に捕えられたまま、光を奪われ続け、やがてスピリットそのものが消滅してしまったかもしれません。

これは、宇宙の法則に照らし合わせても重大な犯罪です。スターピープルを捕えていた「紫ピラミッド」のダークピープル達は、処罰を受けることとなりますが、彼らはいつでも、このようにしてルールを破り、自分勝手に行動しているのです。

この場所を見つけることができたおかげで、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達はすべて助け出すことができました。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル達のリーダーが私達のもとに現れました。「TAKESHIさん、恵理さん、多くのスターピープルの皆さん、大天使の皆さん、そして偉大なる創造主様、私達の仲間達を助けてくださって本当にありがとうございます。皆さんのおかげで仲間達はすべて救い出すことができました。私達は、皆さんへ深い感謝の気持ちを送りたいと思います。私達は、今回は失敗しましたが、すぐに次のグループを組織して、皆さんのアセンションをサポートするために、この地球にやってきます。その時はどうかよろしくお願いします。」

私はリーダーの丁寧な言葉に胸が詰まる思いです。私達の宇宙の進化を助けるために、自分達の身の危険を顧みず、地球にやってきてくれた彼らの深い愛に私は言葉を失いました。

私は、これほど多くの仲間達が傷つけられた事に対して、私達がどれほど謝罪しても、彼らの苦しみや悲しみは簡単に取り去ることはできないだろうと思いました。

「TAKESHI さん、皆さんの気持ちはよくわかっていますよ。
私達と皆さんは大切な兄弟であり、お互いを助けあう友人です。
今回の事は、私達の責任ですから、気になさらないでください。
それでは、またお会いしましょう。」

私達は、彼らを見送りながら、傷ついた仲間達が 1 日でも早く、元の状態に戻ることを祈りました。

第5章 紫ピラミッドに捕らわれた種族達

PART1 地球の進化のために来た種族の解放

私達は、「6 大天使による光のピラミッド」のセッションを通して、「紫ピラミッド」の魔道士達に捕らわれていた「愛で統一された宇宙」のスターピープル達を救出することが出来ました。

彼らは、地球の中でも、私達が生きる物理的な世界と死者達が行く黄泉の世界のちょうど中間にある「浮遊霊の世界」に隠されていたために、創造主もスターピープル達も、簡単に探し出す事ができなかったのです。

しかし、地球の人々の魂には、まだまだ秘密があるようです。

私達はこの浮遊霊の世界に閉じ込められた魂達の有様を見てそう思いました。

地球人が目覚めないように、地球人として進化しないように、スピリットだけでなく人の魂までもが感じがらめに捕えて、浮遊霊や偽ガイド、あるいは魔道士達が見張っているのです。

私達は活動を進めていく中で、「宇宙に闇をもたらす創造主」と「紫ピラミッド」のダークピープルが行っていたことが、どんどん明らかになっていきます。

創造主達は、私達を通して地球の様子をみながら、これほどまでに徹底的に地球人を支配していた「紫ピラミッド」のやり方に驚いています。

さらに探索を続けると、古代の地球で活躍していたいくつもの種族達を「宇宙に闇をもたらす創造主」や「紫ピラミッド」のダークピープル達が捕えていた事が判明してきました。

創造主達も、古代に存在していた種族達が、まだ光 40%台の地球に捕えられている事が分かったために、私達を光 40%台中頃の世界にとどめておいて、捕えられている古代種族達を探しているようです。

もうすぐ、光 50%台の地球と光 40%台の地球が分離されていきますので、その前に探しだし救出しなければ、彼らを助けることはできなくなります。

7月の末、西日本を苦しめた大洪水の後を襲うかのように台風が近づいてきている時でした。私達のもとに見慣れない種族がコンタクトを取ってきました。

その種族は、第1評議会のメンバー達も知らない種族だったのですが、話しを聞くとかなり古い時代に地球人に水処理の技術を教えていたスターピープル達のようにです。

彼らは、水の浄化の方法や作物を育てるために水を利用する方法、雨が降らない時に雨を降らす方法などたくさんの技術を持っていたようです。

彼らは、天の川銀河の他の星から地球人の文明を進化させるために、創造主から呼ばれて地球に降りた種族ですが、しばらくすると「闇の創造主」達に捕えられ、水に関わる技術を奪われてしまったのです。

ダークピープル達は、その技術を悪用して、局所的に雨を降らせたり台風を発生させる方法を作り上げていきました。

しかし、彼らは自分達の技術を盗まれながらも、ダークピープルに対する警戒を緩めず、彼らが何をしでかそうとしているのか見張っていたようです。

「TAKESHIさん、今日は重大な報告があって皆さんのもとに来ました。実は、ダークピープル達が大変な計画をしている事が分かったので、その事をお伝えに来たのです。」

これは急を要する話のようです。

私は、エレナさんをはじめ第1評議会のスターピープル達に、すぐに集まってもらいました。

「ダークピープル達は、私達の技術を応用して、世界各地で大雨や火山の噴火、地震などを起こすような気象兵器を作り出し、フル稼働させています。

そして日本を襲った前回の洪水に引き続き、人工的にコントロールされている台風を使って、原子力発電所やいくつかの施設を攻撃しようとしています。

それは日本に対してはとても大きな危機となりますので、今からでも対策を行ってください。」

エリナさん達も、今回の洪水や台風に関しては警戒をしていたようです。

前回起きた大阪大地震の時も、その前日に私達はダークピープルの動きを探り、彼らが気象兵器を使用して大阪地方に大きな地震を起こそうと計画していたことを察知しました。

第1評議会の中でも、IT 関連に強いスターピープル達がすぐに気象兵器の作動を狂わせて、福井原発に影響が及ぶことをどうにか免れました。

今回の台風のターゲットも福井原発をはじめ、九州にある玄海原発や川内原発に定められているようです。

もし川内原発に事故が起きれば、私達もすぐに非難しなければならなくなり、私達の生活や仕事も奪われてしまいます。

第1評議会のスターピープル達は、この種族と話し合い、この危機を回避するための行動計画をすぐに作成したようです。

私は彼らに尋ねました。

「皆さんの事は助け出さなくても良いのですか、私達とコンタクトを取ったことが分かれば、ダークピープル達もあなた方を放ってはおかないのではないですか。」

「私達は大丈夫です。

私達を監視しているダークピープル達は、言いくるめてありますので心配はいりません。

私達はもう少し、彼らの中にいて彼らが行っている事をさぐり、内側から妨害していきます。

ただし、アセンションが進んで、私達が捕えられている場所が皆さんから分離される前に私達を救い出してください。」

私達は、第1評議会のメンバーたちに彼らの居場所や状況を確認してもらい、必ず彼らを助け出すことを約束しました。

創造主にこのことを尋ねると、まだ地球には捕らわれたままの古代種族がいくつもあるようです。

彼らもそうですが、地球人の進化のために、他の星や世界から、いくつもの種族をこの地球に連れてきたようですが、その多くが行方不明になっており、その所在を探している途中のようです。

私達が「6 大天使の光のピラミッド」のセッションをおこなっている理由の一つは、セッションを受ける人のスピリットに、行方不明となった種族達のスピリットが関わっている可能性があるからなのです。

多くの人のセッションを行いながら、地球が完全に分離する前に、それらの種族を助け出さなくてはならないようです。

PART2 地球人の遺伝子操作を行った種族

8月1日の事、もう一つ別の種族からコンタクトがありました。

まるで天使のような姿をして海中を泳いでいる「クリオネ」の姿にそっくりなので、私達はクリオネ星人と呼ぶことにしました。

私達は急いで、第1評議会のスターピープル達や大天使達にお願いして、クリオネ星人達が捕えられている場所を探し出しました。

彼らは「紫ピラミッド」のダークピープル達によって作られた場所に閉じ込められているようです。

私達は、彼らがなぜこの場所に閉じ込められているのか、尋ねてみました。

「私達は、はるか古代、アトランティスの文明がまだ海の中にあった時代にこの地球にやってきました。

私達の活動の目的は、生物の遺伝子を進化させて新しい生命体をつくる事です。

特に水の中に生まれ育っている生命体を陸上で生活できるようにする事が、私達に求められていました。」

「それでは古代アトランティスのマーメイドやマーピープル達が地上に上がって、アトランティス文明を地上で築き上げたのは、あなた方が遺伝子操作を行ったためですか？」

「その全てを私達が行った訳ではありません。

私達は、マーメイドやマーピープルの遺伝子を操作して、地上で生きている地球人との生殖を可能にするように操作しました。

マーメイドやマーピープル達はとても高度な進化を遂げている種族ですので、簡単に変化する事はありません。

彼らの遺伝子をいくら操作したからと言って、彼らがすぐに地上で生きる事ができるようになる訳ではありません。

その為に、マーメイド達の遺伝子を変化させ、地上の人間達の遺伝子と掛け合わせた子孫を作ることにしたのです。」

このマーメイドと人間の子供が出来る話は、よくファンタジーで語られていますが、実際の歴史の中で行われたことのようにです。

「この計画は、すぐには上手く行きませんでした。やがてマーピープルの種族を地上で生活することができるように作り替えることが出来ました。

マーピープルはもともと穏やかで平和的な種族でした。

とても精神性が高く特殊な能力を持つ種族だったので、彼らと地球人を組み合わせることで理想的な地球人を作り上げようと、創造主は考えていたのです。

しかし、マーピープル達は地上の人間が持つ暴力的で他者を支配的したいという遺伝子も同時に受け継いでしまい、そちらの遺伝子のほうが優勢になってしまいました。

地上に上がったアトランティス人はとても残虐な一面をもっており、仲間だったマーメイド達を捕えて奴隷のように扱いました。

そして、とても高い能力を持ったアトランティス人達は、他の文明をどんどん侵略して、地球の平和を打ち砕いてしまったのです。

私達は、そのことに大きな責任を感じ、何度も地上に上がったアトランティス人達の遺伝子を平和で友好的な物にしようと試みたのですが、上手く行きませんでした。

そしていつしか闇の創造主やダークピープル達に捕らわれ、彼らの支配を受けるようになったのです。」

「その話しなら、私達も良く知っていますが、それは遺伝子の問題だけでなく、闇の創造主達がアトランティス人達を裏で操っていたことが本当の理由のようです。

皆さんが自分達を責める必要はありません。」

「TAKESHI さん、そのように言ってくださって本当にありがとうございます。
確かにそのような事もありましたが、私達の技術は、ダークピープル達によって盗まれ、色々なことに悪用されてしまったのです。」

「たとえばどのようなことに使われたのですか。」と私は尋ねました。

「彼らは、捕えたスターピープルの遺伝子を研究して、新しいダークピープルを生み出す技術を開発していったのです。

それも能力が高く人々を支配する事が得意なダークピープルや魔法を使えるダークピープルを生み出していきました。

また彼らは、私達が自由に姿を変える能力をもっている事に気付きました。

その能力を応用することで、ダークピープルはある程度の範囲で姿を変える事ができるようになったのです。

そして最も困ったことは、ダークピープルと地球人が一体化することができるように、両者の遺伝子を変容させていったのです。」

私達がアセンションを進める中で、最も困っている事が地球人とダークピープル達が一体化している事だったのですが、元をたどれば、このクリオネ星人が持っていた技術をダークピープル達が悪用した結果だったようです。

確かに「紫ピラミッド」をつくり、地球の物理世界を支配していたのは、天の川銀河のスターピープル達の生みの親ともいえる「ミモーレ族」ですので、クリオネ星人達が持つ遺伝子操作の技術を奪い悪用することなど簡単な事だったのでしょう。

「確かに、地球人とダークピープルが一体化する事により、地球人の進化が大きく妨害されてきました。

どうにかして、この地球人とダークピープル達を引き離す方法はないかと、創造主を含め試行錯誤してきましたが、なかなか良い方法が見つかりません。

これを解決する方法はありませんか。」

「皆さんが考えている事はよく分かります。

確かに、今皆さんが見ているダークピープルは、地球人とダークピープルの意思が一つになった時に一体化するように仕組みられています。

これは、地球人がそのダークピープルから離れたいと真剣に考えれば、問題なく離れることができますが、地球人は、このダークピープルを見る事も感じる事も出来ないのです。ダークピープルからコントロールを受けてもそのことに気付かないのです。」

「確かに皆さんが言うとおりでですね。それで私達も苦労しているのです。」

「しかし、皆さんたちがまだ気づいていないタイプのダークピープルもいるのですよ。」

私達は一瞬、頭の中が真っ白になりました。

私達が気づいていないダークピープル達が、まだいるということにショックを受けたのです。

私達はその後に行われた「6 大天使の光のピラミッド」のセッションでクリオネ星人達が言っていた新種のダークピープル達の事が直ぐにわかりました。

それはセッションを受ける人にぴったりと張り付くように存在しているダークピープルがいたのです。

まるで人間の皮がもう 1 枚余計に張り付いているようです。

今迄は見えていなかったのですが、クリオネ星人のおかげでこのダークピープルが見えるようになりました。

「これは大変な存在が見つかりましたね。

このダークピープルについて教えてもらえますか。」

「このダークピープルは特殊な能力をもっています。

それは人から人に感染するようにして増えていくのです。

そして人に気付かれないように、その人をコントロールします。

このダークピープルの特殊なところは、相手の同意を必要とせずに一体化することです。」

「これもあなた方が持っていた技術の応用なのですか。」

「そうです。

私達は地球人を進化させるために、この存在を生み出したのですが、いまでは地球人を支配するために使用されているようです。

この存在は、本人の同意なくついていますので、私達のほうで外すことはできます。」

「そうですか、それはよかった。

それではダークピープルを、この人からとりはずしてあげてください。」

するとクリオネ星人は、ずっとその人の体に入り、まるで何かのカギを外すような仕草をすると、その人から、感染型ダークピープルは離れていきました。

思ったよりも簡単な操作に、私達も驚きました。

これで、多くの人から、この感染型ダークピープルを取り外し、人々を自由にしてあげることができると、私達は喜びました。

PART3 地球人の暴走を抑える感染型ダークピープル

それから幾人かのセッションでも、この感染型ダークピープルは見つかりましたので、私達はその都度クリオネ星人にお願いして取り除いていきましたが、この処理に対して一つの問題が沸き起こりました。

8月4日の朝に恵理さんが私に言いました。

「TAKESHI さん、昨日の夜、1人のシルクハットをかぶった英国紳士のような人が、私のヴィジョンの中に現れて、感染型ダークピープルを、人々から取り除かないように警告してきました。

とても礼儀正しそうな姿だったので、変なダークピープルには見えなかったけれど、誰だったのかしら。」

いつもダークピープルは私達が、人々のスピリットを解放したりする事に対して妨害してきます。

そして時々、私達の活動を止めないとサイキックアタックを行うぞ、と警告というか脅しをかけてきますが、そのような存在と少し異なるようです。

私達は、そのシルクハットの男性を呼び出して詳しい話を聞くことにしました。

シルクハットの男性が現われると、確かに普通のダークピープルと違ってとてもおしゃれな感じがあります。

私は彼に尋ねました。

「まず、あなたの事を教えて頂きたいのですが、あなたは「紫ピラミッド」のメンバーですか。」

「いいえ、私は「紫ピラミッド」に属しているわけではありません。
私は管理者です。」

私達は、その「管理者」という言葉の意味がよく分かりませんでした。

「管理者というのは、何を管理するのですか？」

「私は、皆さんが言うところの光 40%台の世界を管理しているのです。」

「それは「紫ピラミッド」が行っている事ではないのですか。」

「違います、彼らはこの光 40%台の世界で活動している者達です。

彼らはそれぞれの階層に分かれた世界で、自分達のシステムを作って活動していますが、私はそれを見守っているのです。」

何となく、この存在は「紫ピラミッド」のダークピープルではない事だけは分かってきました。

「それでは、あなたは何故、「紫ピラミッド」や闇の創造主達が作った感染型ダークピープルを人間から取り外してはいけないというのですか。

地球の人々を彼らの束縛から自由にしてはいけないという事でしょうか」

「そうです。

この感染型ダークピープルを取り外すと光 40%台の世界が消滅するからです。」

思いがけない言葉に私達は戸惑いました。

管理者は、私達を見つめると、私達に言い聞かせるようにその理由を教えてくださいました。

「この感染型ダークピープルは、確かに人々の思考を抑制し人々の自由を奪っています。しかしそうしなければ、地球人は現在よりももっと暴力的で攻撃的、そして支配を望んで争いを行うようになります。

そのような地球人の暴走を止めるためにも、この感染型ダークピープルは有効なのです。」

「地球人が生み出された後に、地球人の遺伝子にダークピープル達の遺伝子が入れられた事

で、地球人はとても暴力的で争いが好きな種族に変わってしまいました。

この感染型ダークピープルがいないと、今の地球人はもっと攻撃的になり、大きな争いを引き起こすという事でしょうか。」

管理者はうなずきます。

「その通りです。

地球はかつて、もっと激しい戦争や殺し合いが多い世界でした。

中国やヨーロッパの歴史を見ても、戦争が無い時はありませんでした。

常に、どこかで大きな戦争や略奪、侵略が行われ続けていたのが地球の歴史です。

しかし、今はまだ表向きの戦争は少なく、人々が殺し合うことはさほど多くありません。」

「それは人間の理性と精神的な進化によって戦争が無くなってきたからではないのですか。」と私は言いました。

「地球に生きている皆さんはそのように考えていますが、人間の暴力性は一向に変わっていません。

人間の理性や精神的進化なんて見せかけの物です。

人々の心の中には、計り知れないほどの怒りと憎しみが狂気のように渦巻いています。

そのことに「紫ピラミッド」を作った創造主は気づいたのです。

このままでは、地球人は絶え間ない争いを行い、やがて地球ごと全て滅びてしまう。

そうなれば、自分達が支配する地球も人々もいなくなり、光 40%台の地球はおろか、全ての地球が無くなってしまおうと考えたのです。

その頃は、地球はまだ分離を進めておらず、全ての世界が同じ一つの世界だったのです。

この世界が、地球人同士の争いで破滅してしまえば、地球そのものが無くなります。

その為に、地球人がもつ暴力性や残虐性を抑えて、権力者に従順に従うように、この感染型ダークピープルは作られたのです。」

私達は、管理者の言葉に、一言も反論ができません。

確かに「紫ピラミッド」は人々を支配してきましたが、それは地球を壊滅的させるほどの戦争から地球を守るためでもあったようです。

彼らにしても、支配するものが無くなる事ほどつまらない事はないからです。

管理者は続けて言いました。

「もちろん、皆さんが考えているように、自分の理性と精神的な進化によって光 50%台の世界に自力で行けるような人には、この感染型ダークピープルは必要ないでしょう。

そのような人からは、自由に取り除いてあげてください。

しかし、それ以外の人から、感染型ダークピープルを取り外したりしないでください。」

私はこのことを創造主に相談しました。

「創造主よ、この管理者の言うことは正しいのですか。

私には、ダークピープル達が作り出した偽物の理論のような気もしますが、彼らの言うことが正しいような気もします。」

はっきり言って、私には彼らの言うことが正しいのか間違っているのか分からないのです。

「TAKESHI さん、これは彼らが正しいとか、正しくないとかという問題ではないのです。現実世界のルールは彼らが作り上げた物ですので、創造主である私も変える事はできません。この問題は、彼らの意思を尊重した方が良いでしょう。」

私はシルクハットの男性に向かって言いました。

「あなたが警告してきたことを、私達は受け入れるとします。

私達は、不用意にこの感染型ダークピープルを全ての人から取り去る事は控えましょう。

しかし、光 50%以上の世界に行くとした人達からは取り外す事にしたいと思います。

それはクリオネ星人が、見れば分かるでしょうから、私達が、感染型ダークピープルを取り外すように命じたとしても、取り外すことが適切ではない場合は、取り外すことが無いようにしてください。」

私達の言葉を聞くと、シルクハットの管理者は、この場を去っていきました。

第6章 5大エレメントの種族の救出

PART1 捕らわれている人々の心と魂

私達が、「6大天使による光のピラミッド」を初めて、1ヶ月が過ぎ去りました。今迄多くの人達が、このアチューメントを受けてくださる中で、どんどん変わっていく人もますが、やはり様々なヒーリングの罨に捕らわれている人や依存心が強い人はなかなか変わっていく事が出来ません。

そして、私達も自分の意識を光40%台中ごろに合わせているために、思わぬ弊害も出てきました。

それは、「6大天使による光のピラミッド」を受け人の中には、ヒーリング等を行い続けている人達がいるために、その人のゲートを利用して、恵理さんやお腹の中の子供にサイキックアタックが行われ、ダメージが出始めているのです。

それは「6大天使による光のピラミッド」を受け人の中に、自分の意識では光の世界に行きたいと思っても、実際はヒーリング等を通じてダークピープル達と繋がっているために、光40%台の世界から抜け出すことが出来ない人達がたくさんいるためです。

その人の過去世や過去世からくる感情、その人の過去に行った悪魔との契約なども私達は解消していきますし、それらの過去世を原因として憑いている憑依霊の多くも外す事が出来ました。

「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った仕組みや罨をことごとく解決したにも関わらず、その人の魂と意識がまだ光40%の世界にしがみついているのです。

このような人に関しては、その人から憑依霊や偽ガイドを取り外したり、魔道士との関係を断ち切ろうとすると、ダークピープルや魔道士達から、私達はサイキックアタックを受けることが良くあります。

ダークピープル達にすると、この人は光40%台の世界に残る事を決意しているのに、私達が無理やり、光50%以上の世界に連れて行こうとするのは約束違反にあたるから攻撃してきた

のだと言います。

このことに関して、私達は「6 大天使による光のピラミッド」を行う事を計画した創造主と話しをしました。

「創造主よ、ここまで「6 大天使による光のピラミッド」を私達は行ってきましたが、過去世や憑依霊などを取り除くことで大きく変わる人もいれば、なかなかダークピープルや魔道士達の罠から抜け切れない人もいます。

そのような人は、今までの世界にとどまり続けることを望んでいるために私達はどのような状態です。

しかし、そのような人を通して、ダークピープル達の攻撃が来るのは何とか止めたいと思うのですが、方法はないのですか。」

創造主も困った顔をしています。

「私達も、地球の物理世界に生きる人々が、これほど変わることが出来ないとは思っていませんでした。

「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った罠を解除して、人々の魂やスピリットを自由にしてあげれば、人々はダークピープルの手から離れて、光の世界に向かえるとばかり思っていました。が、あまりにも長い間ダークピープルや「紫ピラミッド」に支配され続けてきたために、自由になるという事が理解できないでいるようです。」

「創造主よ、地球の人々はスピリチュアルな世界が全く見えない為に、自分に起こっている変化に気付くことができません。

地球人にしてみれば「6 大天使による光のピラミッド」を受ける前と受けた後では、現実世界は何も変わるわけではないので、私達が行っていることの意味が実感できないのです。

もしかしたら、地球人の意識そのものが、同じ世界にとどまるようにダークピープル達に操作されているのではないのでしょうか。」

「私達もそう思い、調べてみたのですが、そのような形跡はもう見つかりませんでした。

地球人が自らの意思で、今までの世界に残ることを決めているようです。

私達は、そのような人の中から少しでも多く、光の世界に行く人々を見つけ出して助けてあげなければなりません。が、その作業は思ったよりも困難です。」

「創造主は「6 大天使による光のピラミッド」のアチューメントを通してまだ行いたいことがあるのですか。

そうでなければ、私達をなるべく早い時期に光 50%以上の世界に戻してください。

子供達に何か危険な事が起きると、これから生まれてくる太陽種族に問題が起きてしまいます。」

「確かにそうです。

残された課題は、捕らわれている種族達の解放です。

地球の創世記の頃に来たスターピープル達が、まだ捕らわれているという情報が私達のもとに入ってきましたので、その真偽を確かめなければなりません。

そしてもし、それが本当だとすれば、地球の完全分離の前に、彼らを助けだしたいと思っています。」

「まだ、捕らわれたままの種族が残っているのですか。

それは、早く助け出さないとかわいそうですね、私達も探索に参加するとしましょう。」

私達は、創造主達とそのような話しをしていました。

そして、私達は「6 大天使による光のピラミッド」のアチューメントを行いながら、その人の魂が捕らわれた場所に、他にも捕らわれたスターピープル達やまとまった種族がないか探す事にしました。

ある方のアチューメントの時に、一つの種族が見つかりました。

ここに捕えられていたスピリットは、地球人の再生のために準備された種族でした。

幾つかの文明の争いの後、地球人の多くが死に絶えてしまった地球に生み出されたこの種族は、繁殖力が強く、地球人が仲良く暮らすための種族として創造主から生み出された種族のようです。

しかし、その希望は見事に打ち砕かれてしまいました。

彼らがまだ大きな種族に成長する前に、闇の創造主達に捕えられ、長い間閉じ込められていたようです。

彼らは、一つの場所に集められ、身を寄せ合って震えながら生きていました。

ここから出ていくと、迫害されるとだまされてここに閉じ込められていたようです。

私達は、彼らの恐怖や恐れを解き放ちましたが、人としてすぐに生きていくには難しいようです。

しばらく大天使達に預け、彼らの心を癒してもらうことにしました。

PART2 神聖なる水の種族の救出

それから2、3日後の8月7日の事、恵理さんが異常を感じます。

誰かに自分の頭の中をスキャンされているような変なエネルギーを感じると訴えてきました。

ダークピープルはこのようにして、私達の頭の中を探り、私達やスターピープル達が何を考え、何をしようとしているのかを探ってきます。

私達が現在行おうとしているのは、過去に闇の創造主やダークピープル達が捕えたスターピープル達の救出ですので、そのことの情報を探っているようです。

私は、そのダークピープルが行っている事が気になりました。

もしかしたら、スターピープル達を捕えているグループの者達が、自分達が行っていることがばれていないか、調べに来たのではないかと思ったのです。

私はすぐにスターピープルやピカフラッシュを呼び出して言いました。

「恵理さんをスキャンしているダークピープルを、逆探知して彼らが行っていることを調べてください。

もしかしたら、彼らはスターピープルを捕えて隠しているかもしれません。」

スターピープル達は、恵理さんをスキャンするために開けられたダークピープルのゲートを無理やりこじ開けて向こう側に入っていました。

突然スターピープルが入ってきた事に驚いたダークピープル達はあわてて逃げ惑っていますが、すぐに捕まってしまいました。

そして、彼らのゲートを調べると、捕えられていたスターピープル達が見つかりました。

さほど多くの数ではありませんが、非常に古いスターピープル達のようにです。

私はすぐにエレナさんと呼び、このスターピープル達を知っているか聞きました。
エレナさんはしばらく仲間達とコンタクトを取りながら調べていましたが、首を振ってこたえました。

「TAKESHI さん、彼らに関係があるスターピープル達は、今の私達の評議会の中にはいないようです。

しかし、長い間捕らわれたとはいえ、このスターピープルは、私達など問題にならないくらい清らかなエネルギーと強いパワー、そして素晴らしい叡智をもっていることが見ただけで分かります。

きっとかなりレベルが高いスターピープルである事に間違いはないようですので、創造主様にお聞きした方が良いのではないかと思います。」

ロッド星人達も、このスターピープルには大きな敬意をもっているようです。

「私達も、エレナさんの意見に賛成です。

このスターピープルの皆さんは、私達の宇宙のスターピープルでは比較にならないほどの高い能力をもっているらしいです。」

私は、いくつかの評議会の創造主に尋ねてみました。

すると第 21 評議会の創造主が現れてくれました。

「TAKESHI さん、驚きました。

スターピープルの中では最高クラス的位置に属し、創造主並みの力をもっている者達ですが、古代の地球に来ていたとは、私達も全く知りませんでした。

一体なにが起きたのか調べてみましょう。」

第 21 評議会の創造主が調べに行っている間に、私達はこのスターピープルと話をすることにしました。

「皆さんたちは、大変優秀なスターピープルのようですが、皆さんの事を教えてもらえませんか。」

するとスターピープルの集合意識のようなエネルギーが私達に伝わってきます。

「皆さん、私達を見つけてくださってありがとうございます。

私達は、皆さんの宇宙の中に属しているスターピープルではなく、皆さんの宇宙の創造主の

求めに応じて他の世界からやってきました。

まだ地球の人類が進化を始める前です。

私達は、いくつものグループに分かれ、様々な働きを行って、地球人を進化させるために働こうとしていたのですが、地球に来てすぐに、皆さんの宇宙の創造主につかまってしまったのです。

私達は、私達をこの地球に呼んでくれた創造主に助けを求めたのですが、その創造主も捕らわれてしまったようで、私達と連絡が取れなくなりました。」

「それで皆さんは、この地球の中に閉じ込められたまま、何十万年、あるいは何百万年を過ごしたという事ですか。」

「そうですね。

私達はもうすでに、皆さんのような時間感覚はありませので、それがどれほどの長い時間だったのか、皆さんに説明することはできませんが、確かに長い時間、ここに閉じ込められていました。

そして時折自分達のスピリットの一部を地上の人間に反映させて、地上で起きてきたことを見てきました。」

「そうだったのですか、それは大変申し訳ありませんでした。

せっかく地球の進歩のために来てくださったのに、いきなり捕えられて、こんなに辛い思いをさせてしまった事に、地球人として深くお詫びいたします。」

私は、長い間捕らわれていたこのスターピープルの事を考えると胸が痛くなりました。

「それで皆さんはどのような働きをする種族なのですか？」と私は尋ねました。

「私達は水の種族とされています。

水というのは、皆さんだけでなく地球に生きる動物や植物のみならず全ての生命にとって必要です。

勿論この地球そのものが、水が無くては生存できません。

私達は、その水をコントロールしてうまく循環させ、星と星に生きる生命たちの環境を維持するようにしているのです。

そして、水のエネルギーや分子を通して、生命の遺伝子を調整して進化を促進します。水に関わる多くの技術や叡智を私達は保持し、皆さんのために使用する準備をしていました。また皆さんが言うところの人々や生命体にたいするヒーリングや浄化、意識進化にも大きく関わります。」

「そうですか、それはとても素晴らしい技術と叡智ですね。皆さんのような素晴らしいスターピープル達が、捕えられる事なくこの地球で活躍して下さっていたなら、地球はもっと素晴らしい星になっていたことでしょうね。地球人も、もうすでにアセンションしてスターピープルになっていたかもしれません。」

「もちろん、私達はそれが目的でこの地球に来たのですから、地球人達のアセンションはきっと行われていたでしょう。でも皆さん、私達にはまだ仲間達がたくさんいるのです。どうかその仲間達も探し出してもらえませんか。」

私達は、その言葉にハッとしました。

「それは申し訳ありませんでした。それで皆さんの仲間達はどこにいるのですか。」

「私達にも、それが分からないのです。仲間達は、きっとそれぞれの場所に閉じ込められている事でしょう。」

私達がそのような会話をしているときに第 21 評議会の創造主が戻ってきました。

「TAKESHI さん、皆さん、ようやく事情が分かりました。このスターピープル達は、地球のアセンションを担当する創造主によって地球に呼ばれたのですが、その創造主と共にいなくなってしまったのです。この当時の歴史は意図的に消去されていたので、「宇宙に闇をもたらす創造主」が関与したことに間違いはないと思います。」

この創造主は、とても意欲的に地球の進化のためのプログラムを作っていたのですが、彼のプログラムが実現していたならば、地球はおそらくレムリア時代よりももっと前に第 1 アセンションを経験し、レムリア時代に第 2 アセンション、そして今はさらにアセンション度合いの高いスターピープルに、皆さんは成長している予定でした。

しかしながら、「宇宙に闇をもたらす創造主」が天の川銀河の裏で暗躍していた事を、この創造主は気づいておらず、捕えられて光に返されたようです。

そして彼の計画は、見事に覆されてしまいました。」

「その創造主もかわいそうな事をしましたね。

この創造主は、これからの地球で活躍してくれるのではないですか。

私達の宇宙をアセンションに導く重要な創造主になってくれそうな気がするのですが、彼を復活させてみたらどうでしょうか。

そうしたらこの当時に捕まえられてしまったスターピープルの事も分かるのではないのでしょうか。」

創造主達はこのことについて話し合っているようです。

「TAKESHI さん、創造主を復活させるというのは簡単な事ではありません。

地球の歴史に大きな影響を与えてしまう可能性があるからです。

確かに、この創造主が復活するとこの当時の事もよく分かり、地球のアセンションも大きく進めることができるかもしれませんが、注意深く行わなければなりません。」

そう言って第21評議会の創造主は消えていきました。

しかし、この大切な種族の救出に入れることが私達にはとても嬉しく思えます。

PART3 5 大エレメントの種族が閉じ込められていた部屋

翌日、私達は会社の会議に参加するために、車で始良市に在るイオンタウン始良に向かっていました。

その途中、第21評議会の創造主からメッセージがありました。

「TAKESHI さん、創造主達の会議で、昨日の光に返された創造主を再度復活させる事が決まりました。

それも、古代の時期ではなく現在の時期に復活させるならば、地球の今までの歴史に変化を起こさないからということで、今の時代に行っているアセンションを助けてもらうために、この創造主を復活させます。」

そのメッセージを聞いて私達はとても嬉しくなりました。

遙かな古代、地球をアセンションさせる事を目的として生み出された創造主が再び私達のもとに戻ってくるのです。

これからの地球のアセンションも、この創造主がサポートしてくれる事により、さらに進むことでしょう。

私達は、その夜のセッションで、昨日助け出した「水の種族」を助け出すための活動に入りました。

どうやら、彼らの仲間は全部で5種族いるようです。

この夜のセッションは、私達と日頃から仲が良い友人のセッションですが、すでに彼女の中には「水の種族」の遺伝子がある事を聞かされていたので、種族を探すことは決して難しくないとおもわれます。

私達は、彼女の「水の種族」の遺伝子をもとに、40%台の大きな闇の中に入っていました。様々な場所を経由して行きついたのは、おそらくは「紫ピラミッド」の隠された部屋のような場所です。

大きな広間があり、その広間に5つの扉があり、それぞれの場所に続いているようです。おそらく、この5つの扉の奥には、それぞれの種族が閉じ込められていることでしょう。

私達が近づくと、一つの扉が開きました。

スターピープル達はすぐにその中に入り、奥まった場所に閉じ込められているスターピープルの一団を見つけました。

このスターピープルは、昨日見つけた「水の種族」の仲間達でした。

彼らはこの場所で、とても弱り切っていました。

次の扉も開きました。

その扉の奥にいたのは、「火の種族」のようです。

彼らは、長い間、この場所に閉じ込められていた事に大きな怒りをもっています。

まるで燃え盛る炎のような怒りです。

私達は、この種族もすぐに救い出して、創造主にこの種族のエネルギーのクリアリングをお

願いました。

この種族は、怒りに満ち溢れていますので、このままでは私達も手におえません。

そして3番目の扉も開きました。

その扉の奥にいたのは「風の種族」です。

彼らは、動きを封じられて静かに沈黙しているようです。

しかし助け出されたときに、彼らのエネルギーが活性化したのか、とてもおおきな風が巻き起こりました。

私達が捕えられた諸族を助けることに気を取られている間に、誰かが入ってきたようです。まわりを見渡すと、とてもパワフルで神聖な力を持ったスターピープル達が、私達を見守っています。

今助け出された種族達ともよく似ていますが、各段素晴らしいパワーを持っているようです。

私達が、皆さんは誰ですかと、尋ねようとした瞬間、恵理さんの意識の中にメッセージが入ってきました。

「私は、この種族の元となった種族です。

かつて彼らは、私達の種族の中から、地球に派遣されていった者達です。

彼らは、地球の物理次元に近い場所で、地球人達を見守り指導するつもりで地球に入ったのですが、突然その消息を絶っていました。

私達も長いこと探していたのですが、地球の闇に阻まれ、彼らを探し出す事ができませんでした。

しかし、ようやく私達の種族の仲間達が見つかった事を知らされ、私達も助けに来ました。」

「あなた方はとても神々しく見えますが・・・」と私は心の中で思いました。

「もともとは同じ種族でしたが、彼らはとても長い間この場所に捕えられ、進化することができませんでした。私達は順調に進化しましたので、今ではこのような姿になっています。彼らも、地球での仕事をきちんと終え、私達と共に活動していたならば、きっと私達と同じ姿になっていたでしょう。」

私は心の中で、この種族が地球にやってきてくれたにもかかわらず、「宇宙に闇をもたらす創造主」に捕えられたばかりに、種族としての成長を遂げることが出来なかった事に対して、

大変申し訳なく思いました。

「いえ、ご心配はいりません。

彼らはこれからすぐに、新たな進化の道をたどるでしょう。

そしてすぐに、私達と同じようなスターピープルになる事が出来ます。」

私は、創造主にこの神々しい輝きを持ったスターピープル達の事を聞いてみました。

「彼等は、創造主並みの力を持ったスターピープルとして知られています。

現在は、20 評議会以上の創造主達と共に活躍しているはずで。

彼らは、5つのエレメントを使って、宇宙の創造を物理世界で行う役目のスターピープル達です。」

創造主達も、このスターピープルには一目置いているようです。

私達がそのような話をしている間にも、この高次のスターピープルは、捕えられていた仲間を助け出し、自分達の光で、傷付いたスピリットを癒しているようです。

それはとても神々しい光景です。

「TAKESHI さん、未だ開いていない扉がありますよ。」と誰かが言いました。

私も我に返って見渡すと、確かにまだ2つの扉が開いていません。

おそらく、土の種族と木の種族が残されているようです。

私達は扉に近づき、その扉を開けようとしたのですが、他の扉のようにスムーズに開いてくれません。

私は、フレッド達に尋ねました。

「この扉を開いて種族達を助けに行きたいのですが、他の扉のように開かないのですか。」

フレッドは少しの間、調べています。

「この扉は、どうも各種族の遺伝子に反応するようです。

TAKESHI さんは、水と風の遺伝子をもっていますし、恵理さんは火の遺伝子をもっていますので、この3つの扉は簡単に開いたのです。

しかし、他の2つの扉は、それに適応する遺伝子を持つ人が見つかった時に開くでしょう。」

そしてこの2つの扉も開くときが来ました。

その後のセッションで、この5大エレメントの遺伝子を持つ人がすぐに見つかったためです。私達はセッションをおこないながら、5大エレメントの種族が捕らわれている部屋に行き、残されていた土と木の種族が捕えられていた扉を開くことが出来ました。

そして5大エレメントの種族達が全て助け出された後に、各種族のリーダーたちが一つになって、5大エレメントの種族全体のリーダーを復活させることが出来たようです。

種族全体のリーダーにしてみれば、各種族のリーダーは自分自身の一部のようなものです。各種族のリーダーが一つになることによって、この5大エレメントの総リーダーが復活するとともに、全ての種族のメンバーたちが一つに繋がる事ができるようです。

私は、全体のリーダーと会って話をします。

「偉大なる種族達よ

皆さんがせっかく地球のために来てくださったのに、闇の創造主達に捕えられてしまい、長い間不自由な思いをさせてしまった事を深くお詫びいたします。

皆さんの元となった種族の人達も来ていらっしゃるようですが、皆さんはこれからどうしますか。

一度、自分達の世界にお戻りになりますか。」

リーダーは、私達に向かって深くお辞儀をすると、

「TAKESHI さん、そして皆さん、私達の種族の者達を助け出して頂き大変ありがとうございます。

これは私達の不注意で起こした事ですので、皆さんが謝罪する必要はありません。

私達は、元の種族の者とも相談いたしましたが、当面地球に残る事にします。

現在の地球の状況を見ましたら、私達が持っていた技術を悪用して、スターピープルをダークピープルに変えたり、新たなダークピープルを生み出したりしていることが分かりました。

そして地球人の遺伝子に操作を加え、地球人がスターピープルに進化できないようにしているようです。

おそらく私達でなければ、解決できない問題も沢山あるようです。

私達は、それらの問題を全て解決するまで、この地球に残り働きたいと思っています。

そして、私達の力が及ばない時は、私達の種族の者が手助けてしてくれる事になりました。

どうか皆さん、宜しくお願いします。」

私達はこれほど素晴らしい能力と資質を持つスターピープルと一緒に働く事になってくれて大変うれしく思います。

私達は、彼らの種族に「ホーリーエレメント」という名前を付け、リーダーをホーリーと呼ばせてもらうことにしました。

それからというもの、私達のセッションにもホーリーたちは必ず参加して、セッションを受けてくださった方の遺伝子を修復すると共に、その方に関係のある人々に入っていく、多くの人の遺伝子の修復を行っているようです。

彼らは、第8評議会レベルの能力と資質をもっていますが、物理世界にも関わることができる特殊なスターピープルですので、私達にとっては、なくてはならない大切な仲間となっていたのです。

第7章 ホーリーエレメント族の秘密

PART1 ホーリーエレメント族のメッセージ

私は、ホーリーエレメントたちの事を詳しく知るために、リーダーである「ホーリー」に、種族の事を詳しく教えてくれるようお願いしました。

そして、その夜「ホーリー」が、私のもとに現れて彼らの種族について非常に詳しい情報を教えてくれました。

○「ホーリーエレメント」の種族の事

私達ホーリーの種族についての話をしていきましょう。

私達ホーリーエレメントのスターピープル達は、かねてより創造主とともに、宇宙に存在する星々やその星の環境、及びその星に生きる多くの生命達を生み出し育てることが主な役割です。

私達もかつては、一つの星の中にうみだされ、偉大なスターピープルや創造主達の指導を受けて成長してきました。

私達は作られた時点から、創造主の働きを助け、生命の創造と進化に関わるようにプログラムされていたために、創造主達のカや資質などを、他のスターピープル達に比べたくさん持っていました。

私達は、ある程度のところまで進化すると、いくつかの特質に基づいて5つのグループに分かれました。

それが、5エレメント・スターピープルのもととなったのです。

この5エレメントというのは、エネルギーの質に関わる分類です。

皆さんが住む地球では、私達のエネルギーの本質を区分するのには最適な言葉ですが、私達のすべてを言い表しているわけではありません。

これから私達の概念に基づいて、ホーリーエレメントの種族の話をしたいと思います。

まずホーリーエレメントの成り立ちですが、私達は5つのエレメントごとに分かれて活動しています。

私達の姿は皆さんにはわかりやすいように個別のスターピープルの形をとっていますが、本来は同じ意識を持つ連続体です。

外見上は別々に見えても私達の意識はエレメントごとに一つにつながっています。そして、お互いの役目が決められていて、その役目に応じた仕事を行っています。

私達の本当の姿は、皆さんの言葉でいうならば「意志を持った光」ですが、地球の物理世界と関わるために、半物理的な肉体を持って、地球人と物理世界で接触ができるようにしています。

私達が今回行うべきことの中心は、地球人の遺伝子の修正ですので、地球人のスピリチュアルレベルと物理的な肉体レベルの両方に関わるような状態に私達はなっています。

今まで、私達は「宇宙に闇をもたらす創造主」や「闇の創造主」の力によって、自分達の自由を奪われ、私達のスピリットと半物理的な肉体は拘束されていました。

そして彼らの計画により、私達のスピリットは細かく分けられ、地球人のスピリットと共に転生を余儀なくされていました。

そして私達の遺伝子の一部が地球人に引き継がれていたのです。

これは、ダークピープルや闇の創造主達が、私達の知識や能力、技術を盗み出し悪用するために、このような状態に私達を置いたのです。

私達のスピリットを特別な場所に捕えておきながら、その一部を物理世界に転生させ、ダークピープル達によって、私達は管理され続けてきたのです。

闇の創造主達は、私達の集合意識が一つにつながらないように、私達のスピリットを細かく分断し、地球人の中に埋め込んでいったのかもしれませんが。

私達は、細かく分断された意識では何もすることができず、孤独と戦っていました。

かろうじて、私達の各エレメントのリーダーたちとは意識が繋がっていたのですが、圧倒的なダークピープル達の力により、リーダーとのコンタクトも思うようにはできませんでした。

しかし、今回皆さんによって、私達のスピリット達が、ダークピープルや闇の創造主の牢獄から救い出されたことによって、私達は各エレメントのリーダーを中心に、再び一つの連続

体として統合されることになりました。

そして、5つのエレメントのグループがそれぞれ統合される事によって、さらに5つのエレメントの連続体を統合するための象徴である「ホーリー」が再び生み出されました。

「ホーリー」は5つのエレメントのリーダーの統合体でもありますので、すべてのエレメントの力を持っています。

そして「ホーリー」は、もともとの「ホーリーエレメント」の種族とも深くつながっています。

私達は、私達のリーダーでもある「ホーリー」の一部でもあります、「ホーリー」そのものも「ホーリーエレメント」という種族の一部でもあります。

私達は、「ホーリーエレメント」の種族全体に比べれば、その小さな一部にしかすぎません。はるかな昔に、「ホーリーエレメント」の中から、一つのグループが選ばれ、皆さんの宇宙である地球に送られたのです。

私達は、地球に降り立ってしばらくすると闇の創造主にとらえられてしまったために、私達の進化はそこで止まってしまいましたが、私達が属していた「ホーリーエレメント」の種族自体は、その後も飛躍的な進化を遂げ、第 23 評議会の創造主とともに仕事をする最高レベルのスターピープルになりました。

しかしながら、私達のように、いくつかの宇宙や星々に派遣された者の中には、私達と同じように「闇の創造主」に捕えられ、進化が遅れている者達もいます。

皆さんがかつて「創造主大戦争」の影響で捕えられた5大エレメントのスターピープル達を解放していただいたことがあります、この時助けていただいた者達も「ホーリーエレメント」の種族の仲間達です。

私達は、いくつもの次元や世界に「ホーリーエレメント」に関わるスターピープルの種族を配置しています。

私達は、ある宇宙の創造や進化に携わる時には、その宇宙や星々で十分な活動ができるように、あえて私達の遺伝子を変化させて、その宇宙や星々に合わせた形態をとってきました。そしてその形態を保つために、自分達の進化や成長をわざと見送ってきたこともあります。

そうなる、同じ「ホーリーエレメント」の種族中でも、いくつもの異なるレベルの「ホーリーエレメント」達が出来上がってくることになります。

しかし、そのことは、私達にとって決して不都合なことではありません。

むしろ「ホーリーエレメント」の多様性を認めるものでもあります。

私達は、この地球に長い間、閉じ込められていましたので、私達がこの地球にやってきたときと同じアセンション・レベルを保ち、長い間進化する事ができませんでした。

私達は、一度本来の「ホーリーエレメント」のもとに戻る事も考えましたが、この地球を見渡してみると、私達が地球人にもたらそうと思っていた多くの技術がダークピープルによって悪用され、様々なダークピープル達が生み出されたり、地球人の遺伝子が変容されてスターピープルとは程遠い存在に変えられていました。

私達は、自分達の技術が悪用され、私達が全く意図していなかった世界が出来上がってしまっている事に大変なショックを覚えてしまいました。

本来は地球人をスターピープルに進化させるための技術だったのですが、全く逆の結果を生み出し、地球人はアセンションどころか、どんどん闇が深い世界に引きずり込まれてしまいました。

私達がここで元の種族のもとに帰ってしまったのでは、あまりにも無責任です。

私達は、自分達が持ち込んだ技術によって意図せずに作り上げられたダークピープルや傷つけられ地球人の遺伝子の修正をしっかりと行っていきたいと考えています。

そして地球の環境を正常化し、地球人が1人でも多く、アセンションを行い光の世界へと引けるように導きたいと思います。

○「ホーリーエレメント」の種族の特質

次に「ホーリーエレメント」の種族の特質についてお話しします。

私達は5つのグループに分かれています。

これは、「ホーリーエレメント」の種族の中で5つの異なる役目をそれぞれが担っているという事です。

私達は、各エレメントに統合された意識の中にいますが、それぞれのエレメントも「ホーリー」によって一つの意識に統合されていますので、「ホーリーエレメント」に属するすべての者は、大きな一つの意識の中に含まれることとなります。

そのために、私達は時々役目を変えて異なるエレメントのグループに変わることもあります。

○水のホーリーエレメント

5つのグループは、皆さんの言葉にするならば、「水」「火」「土」「風」「木」というエレメントに分類されます。

「水」のエレメントに特徴的な役目は「進化」です。

「水」のエレメントに属するもの達は、「水」と呼ばれるエネルギーや働きを使って地球の環境を整えます。

そして水を主な主成分とする多くの生命たちの創造と成長に大きく関わる事になるのです。

私達は、最初水の中に多くの有機体や生命体を生み出し、海の力を使ってその生命達を進化させていきます。

そしてやがて、海の中に生きていた生命達はさらなる進化を遂げ、陸に上がると、地上での繁殖と進化を遂げていきます。

「水」のエレメントに属する者達は、生命たちの遺伝子を生み出し、スピリチュアルレベルと物理レベルにおいて操作を行い進化させていくのです。

しかしそれだけではなく皆さんの中にある水の分子を使い、皆さんの体が正常化していくように働きかけることもできます。

また水のエレメントを持つ者達は、地球の環境や地球を含む太陽系の環境に関してもそれらを適切に維持するためのシステムを持っています。

私達はこの地球をある程度進化をさせるためには地球の環境そのものを整えなければならないと考えています。

そのために地球を含む太陽系そのもののエネルギーを適切なものに保つために、地球を含む太陽系の惑星たちの配置や重力の干渉あるいは太陽からもたらされる光線の量なども適切に

修正してきました。

水のエレメントに属する者達はとても深い技術と天文学的な知識そして恒星や惑星を適正な状態に保つための技術や能力を持っています。

これは私達ホーリーエレメントにとっては最も神聖なる技術です。

また水のエレメントを持つ者達は、地球の中におけるシャーマニックな存在を作り出す事も行ってきました。

シャーマニックな存在というのは自分自身が光の柱となり、地球と人間そして宇宙の高次元のエネルギーを一つに繋ぐ者達のことです。

シャーマニックな存在というのは自分自身を天と地をつなぐ存在として位置づけます。

この存在達がいることによって地球は常に高次のエネルギーを受け取ることができるようになります。

そして地球というものは素晴らしい光の星へと変わっていくことができるのです。

○火のホーリーエレメント

火のホーリーエレメントたちの働きを説明いたしましょう。

火のエレメント達は主に生命の活力、生命の源、生命のエネルギーに深く関わっています。

皆さんがこの地球上で活動し生きているのはまさにこの火のエネルギーによるものです。

皆さんは火のエネルギーを体の内部に持つ事によって、体を温め、新陳代謝を行い、食べる物からエネルギーを生み出して自分自身の体を育てています。

火のエネルギーは太陽の光エネルギーとも深く関係しています。

なぜなら太陽の光の源は太陽の燃え盛る炎であるからです。

太陽は火のエネルギーの塊ともいえるでしょう。

火のホーリーエレメントは、太陽のエネルギーを地球上で活かすという事を主に行います。

地球を暖め、地球に生きる物達に火のエネルギーを与える事で生命力を高めているのです。

そして火のホーリーエレメント達は地球の人々にとっても大切なものを生み出しました。

それは感情と呼ばれるものです。

地球人達は感情を持つことによって成長し進化してきました。

その感情というのは主に自分自身が成長することへの喜びや好奇心、そして人々を愛する喜びなどにつながれていくはずでした。

火のホーリーエレメント達は地球人の感情を愛に溢れるものにする予定でした。

しかしながらダークピープル達によって、この部分が大きく変えられてしまい、火のエネルギーは怒りや憎しみ、恐怖あるいは攻撃性などを生み出す原動力となってしまったのです。

火によって作り上げられた感情はとても大きく、莫大なパワーを持ちます。

このパワーを、悪い方向に利用された事によって、地球人は地球の中に大きな争いや戦争を生み出してしまったのです。

私達にとって最も大きな失敗は、この感情を怒りや憎しみのために使われてしまった事です。本来であれば人を愛する事や喜びを感じるために存在する感情が、人を憎みそして怒りを引き起こし、お互いを傷つけ合うような負の感情に変えられてしまった事です。

火のホーリーエレメントたちは特にこのことを修正したいと願っておりました。

また火のホーリーエレメント達の特徴としては、地球人の種族達を速やかに成長させるという働きもありました。

水と火というのはとても異なるような要素に皆さんは思えるかもしれませんが。

しかしながら火によって水が沸騰させられ湯気になるように、火の力が水に加わることによって水の働きはとても大きな力を持ちます。

水と火のエネルギーが共に働く事によって、地球人は通常かかる時間よりもさらに短い時間で進化していくことができるのです。

火というのはとても大きな変容の力を持っています。

人の意識を大きく変えるのもこの火の力によるものです。

しかし、火のエネルギーは地球人を進化させるのではなく、地球人のネガティブな感情をどんどん湧きをこさせるために利用されてきました。

○土のホーリーエレメント

次に土のホーリーエレメントの働きをご説明いたします。

土のエレメントというのは地球でもそうですが、植物や動物達を成長させるために重要な役目を持っています。

土のエレメントは土の中に種を宿した植物が、土から栄養を受け取り、芽を出して成長し、花を咲かせ、そして実を实らせるように地球の様々な生命達を成長させていきます。

さらに土のエレメント達はその植物を实らせ繁殖させる事で、植物達を地球上に増やしていくという働きも行っていきます。

土のホーリーエレメント達によって地球上はとても豊かな自然を作り上げることができました。

ダークピープル達もこの働きに関してはあまり干渉しませんでしたので、土のエレメントのスターピープル達はこの地球を守るために一生懸命働きました。

そして地球を豊かな自然あふれる星に変えていったのです。

土のエレメント達は、人間達や多くの動物や植物達を保護し育成する働きを持っていましたが、ダークピープル達の手によって、土のホーリーエレメント達は人間を保護し育成する力を奪われてしまいました。

人間を育てそして生殖させることで人間を増やすということは土のエレメント達は十分に行わせてもらったのですが、その地球の人達が安らかに暮らす事、自分達の理想や目的に沿って暮らす事に関してはとても大きな制限をかけられてしまいました。

そのために地球人達は力を持った権力者によって支配と搾取を受け、様々な辛い思いをすることになってしまったのです。

土のホーリーエレメント達はその事を解決したいと願っています。

本当に自分達の豊かな愛で地球の人々達を見守り、そして進化していく様子を見たいと願っているのです。

土のホーリーエレメント達は火のホーリーエレメント達と協力しあって地球の火山やマグマの動きも管理しています。

もし彼らが力を発揮する事がなければ、地球はとても冷えた星になってしまうことでしょう。そうすると地球というのは生命を生み出す事もできなくなりますし、冷たい氷河に閉ざされた星になってしまいます。

土のホーリーエレメント達と火のホーリーエレメント達は協力して、この地球が生命達が生きるにふさわしい世界となるように努力してきたのです。

○風のホーリーエレメント

風のホーリーエレメント達は、地球人に自由でそして優れた発想力やアイデアあるいは芸術性、創造性などを与えます。

これは地球人が進化していくためにはなくてはならない特性です。

地球人達が様々な夢や希望を思い描き、そしてそのために努力していく事によって地球人は大きく進化していく事ができるのです。

また風のホーリーエレメント達は、多くの存在達のコミュニケーション能力についても大きく関わっています。

今皆さんがお互いに話をしたり、あるいはお互いに協力関係を作って仕事をしたりするのも、風のホーリーエレメント達の働きです。

風のホーリーエレメント達は最終的にはテレパシーのような言語を使わない方法、お互いの感覚やお互いのエネルギーによるコミュニケーションの方法を作ろうとしました。

多くのスターピープル達が、異なる種族同士で話しをする時には、もうすでに言語というものを使いません。

ある程度進化したスターピープル達は、お互いのテレパシー能力というものを発揮してお互いが間違える事なくコミュニケーションをとるようになって行っているのです。

本来であれば地球人にもそのような能力を授けたいと風のエレメント達は働いていましたが、その能力が身につく事によって地球人達は嘘や偽りを言えない状態になります。

自分の心の中の本心がお互いにすぐわかるようになってしまうのです。

そうになってしまうとダークピープル達が地球人を支配する事は困難になります。

現在、皆さんの世界がそうであるように、その人が本当に考えている事と言っている言葉とが違ふという状態の方が、ダークピープル達は皆さんを支配するにはとても便利なのです。風のホーリーエレメント達はその事をとても悲しく思っていました。

自分達の働きが足りなかったばかりに、地球人達は言葉によるコミュニケーション方法、嘘や偽りが通用するようなコミュニケーション方法をとるようになってしまったのです。

風のホーリーエレメント達の他の働きについてもお知らせしましょう。

それは、皆さんの感情や皆さんのネガティブなエネルギーを綺麗に浄化するという働きです。

これはまるで台風が過ぎ去った後、とても綺麗な青空が広がり空気が清々しく感じられるように、この地球の中にあるネガティブなエネルギーや皆さんの心の中にあるネガティブなエネルギーを風のホーリーエレメント達は浄化する事ができます。

もし風のエレメント達が正常な状態であれば、この地球もそうですが皆さんの心の中にあるネガティブな感情やネガティブなエネルギーはここまで大きくならなかったでしょう。

そして風のエレメント達が自由に活動できたならば、皆さんの心の中には素晴らしい創造性や芸術性、夢や希望が満ち溢れていた事でしょう。

このエネルギーというのは、皆さんがスターピープルに進化するためにはなくてはならないものです。

自分の現状をどのように変えて行くのか、自分がどのような人生を生きていくのか、そのような事をしっかりと考える働きは、風のエネルギーによるものです。

ダークピープル達はこの働きを地球人から奪いました。

風のホーリーエレメント達を閉じ込める事によって、この風のホーリーエレメント達の最も大切な働きを地球人に与えないようにしたのです。

そして地球人が想像力を失いダークピープル達の支配を受けるとしてしまっただけです。

風のホーリーエレメント達はまずこの事を修正したいと言っていました。

人間としての創造性や自由それは地球人本来の遺伝子の中にあっただけですが、その遺伝子も傷つけられてしまったからです。

風のエレメント達の働きはこの遺伝子の修復です。

○木のホーリーエレメント達

木のホーリーエレメント達の働きをご紹介します。

木のホーリーエレメント達は樹木を成長させ、多くの食べ物をみなさんに分かち合うようにします。

樹木というのは周りの環境もきれいにします。

そして根を張る事によって土を耕し多くの生命等を養います。

樹木の働きというのは愛そのものです。

樹木は宇宙の根源の愛と深く繋がっています。

宇宙の根源の愛のエネルギーをそこに抱いていると言っても過言ではありません。

地球人は大きな樹木に抱かれた時に、とても大きな安らぎを感じます。

そして樹木に抱かれる事によって、地球人は自分の体のエネルギーを浄化してしっかりとしたバランスのとれたものにする事ができるのです。

これもまさに愛の働きです。

樹木はこの地球に愛を届ける存在であり、地球に生きる全ての者達を宇宙の根源の愛とつなぐ働きを持っています。

地球人がスターピープルに育っていくために最も大切な要素は愛です。

それも他人から何かを奪う愛、他人を束縛するための愛ではありません。

樹木のように自分は何も求めず与える愛。

相手を思いやり、そして優しさを分かち合う愛。

この事がなければ地球人はスターピープルとして進化する事はできないのです。

しかしながらこの木のホーリーエレメント達が捕まった事によって、地球人は自分の中にある本当の愛を見失ってしまうようになりました。

地球人は無償の愛、宇宙の根源の愛を分かち合う事をせず、お互いから奪い合う事、お互いを束縛し合う事を行いました。

地球人が進化できなかった最大の理由はここにあります。

お互いを思いやるのではなく、お互いから奪い合う事、そしてお互いを束縛し合う事、自分が愛するもののために他の者達から奪う事。

地球人はそのような間違えた愛によって、多くの戦争や殺し合い、奪い合い、差別し合う事、搾取する事を行ってきました。

地球の歴史はまさに奪い合う事によって作り上げられた歴史となってしまったのです。

木のホーリーエレメント達はこの事をとても悲しく思っていました。

自分達が捕らわれ、自由を奪われたばかりに、地球人達は本当の愛に目覚める事ができなかったのです。

木のホーリーエレメント達はダークピープルによって傷つけられた愛の遺伝子の修復を行いたいと願っています。

そして地球人に本当の愛を知らしめる事、地球人が本当の愛を実現する事を木のホーリーエレメント達はこれから行いたいと願っているのです。

これで五つのエレメントの働き、そして彼らの目的について皆さんにご紹介いたしました。

私達は、長い年月を囚われたまま過ごしてきました。

しかし皆さんによって、私達は解放され、そして私達の本来の種族の者達も私達の事を応援するために来てくれました。

私達は自分達の源であるホーリーエレメントの種族によって自分達自身を癒し、そして本来の能力を回復しました。

もちろんこの今の状況を解決するためには私達のみでは足りません。

私達の種族の中でも、もっとも進化したホーリーエレメント達も、私達の仕事を手伝ってくれるために来てくれました。

そして皆さんのお力も借りて、私達はもう一度自分達のやるべき事をこの地球で行いたいと願っているのです。

2018年 8月12日

ホーリーエレメントのリーダー 「ホーリー」

第8章 未来から来た種族と闇の創造主

PART1 子どもとシェンロン（神龍）を繋ぐコードの謎

「6大天使による光のピラミッド」のセッションをやり続ける中で、恵理さんの体やお腹の子供にもさまざまな影響が出てきたようです。

恵理さんも、妊娠中期の頃から、寝ているときに足が引きつることが多くなり、お腹の張りも強くなって張り止めの薬が手放せなくなっていました。

ネガティブなエネルギーやダークピープルからのサイキックアタックを受けた時やダークドラゴン達が暴れているときはさらにひどくなります。

私達の家族は、守護のためのシェンロン（神龍）をもっていますが、地球上でダークドラゴンが暴れ始めると、ダークドラゴン達を鎮めるために、自分達の身を犠牲にして彼らと戦います。

また地球のコアやエネルギーを守り、地震や火山噴火を抑えるのも、地球のシェンロン（神龍）や光のドラゴン達の役目です。

しかし、ダークドラゴンとダークピープルは、特殊な機械なども使用しながら地球のコアを攻撃し、世界各地で地震や火山噴火、大洪水などを引き起こそうとしています。

そのような時は、地球人に大きな被害が出ないように、一生懸命防御を行いますので、シェンロン（神龍）や光のドラゴン達も大きな痛手を負ってしまいます。

私達は、お腹の中にいる子供にいつも大きなダメージが与えられるので、子供と関係があるコードが、恵理さんのお腹や足に隠されていないか、スターピープル達に調べてもらうことにしました。

するとやはりお腹の中の子供と彼女のシェンロン（神龍）を繋いでいるコードが見つかりました。

このコードによって、子供のシェンロン（神龍）がダメージを受けた時に、恵理さんの体を通して子供にもダメージが来ているようです。

スターピープル達は次のように報告してきました。

「恵理さんのお腹の中にいるお子様は、シェンロン（神龍）のスピリットを持ち、地球の光のドラゴン達を束ね、新しい光の世界を守護することが役目ですので、まだ生まれる前から、地球を守るために、皆さんのシェンロン（神龍）と一緒に働いているのです。

しかしまだ、人間としての肉体もしっかりできていないので、私達スターピープル達が防御をしてもそのダメージを受けてしまいます。

それが、お腹の張りや足の引きつりとなって表れているのでしょう。」

私は、このままでは子供に大きなダメージが及ぶ可能性があるために、そのコードを取り外すことが出来ないか、聞いてみました。

するとスターピープルはこのように言います。

「これは、シェンロン（神龍）と子供を繋ぐ大事なコードですから取り外すことはできません。

シェンロン（神龍）に与えられる攻撃を少なくして、ダメージを減らすことが最善だと思われます。」

確かにそうかもしれませんが、おそらく、このコードには隠された秘密があるはずです。

私は自分の意識をコードに向けて、このコードを調べます。

確かに、お腹の中にいる子供とシェンロン（神龍）が繋がれているようですが、そのほかにももう一本、このコードに入り込んでいるコードが見つかりました。

細くて目立たない色のコードですので、スターピープル達が見落としているのかもしれませんが。

「スターピープルよ、私の意識と同調して、このコードに繋がっているもう一本のコードがどこから来ているのか、すぐに調べてください。」

私の声に驚いたスターピープル達が直ぐに、私の意識を通して、このコードの出所を探しに行きました。

「TAKESHIさん、見つかりました。

このコードの先には、ブラックドラゴン達の世界がありました。

本当に私達が見逃していたばかりに、変なエネルギーが恵理さんとお子様に流れ込んでしま

いました。

本当に申し訳ありません。」スターピープルは申し訳なそうに謝ります。

「わかりました、それではスターピープルと大天使達でこのコードを分離してください。

そしてブラックドラゴン達は創造主にお願いして処理してもらってください。」

ブラックドラゴン達は、常に恵理さんのお腹の中にネガティブなエネルギーを流し込むことで、子供の成長を妨害しようとしたようです。

PART2 未来から来た恵理さんの種族の救出

お腹の子供とシェンロン（神龍）を繋ぐコードを探す過程で、私達はもう一つのコードを探し出しました。

そのコードは恵理さんの体に大蛇のように巻き付いたコードでした。

これだけ大きなコードが、恵理さんの体に残っていたのですが、私達は今まで、このコードを見つけることができませんでした。

このコードが見つかったのは、「6大天使による光のピラミッド」のセッションで、私達に長い間関わっていた人から、今まで見たこともないダークピープルが見つかった直後でした。

私達が行うセッションを通して、人々の遺伝子の修正をホーリーエレメント族が行っていた時に、その人の意識にぴったりと張り付くように存在していたダークピープルを見つけたのです。

そのダークピープル達は、地球で生まれたダークピープルではなく、他の宇宙から連れてこられたダークピープルのようにです。

「TAKESHI さん、このダークピープルの遺伝子は、地球の物とは異なるようですので、きっと「宇宙に闇をもたらす創造主」によって連れてこられたダークピープルだと思います。このダークピープルの遺伝子を見ても、今までのダークピープルとは異なり、様々な世界のダークピープルの遺伝子が埋め込まれているようです。

彼らは、完全に人々の意識をコントロールしています。

このダークピープルに操られた人が、TAKESHIさん達の身近にいたという事は、TAKESHIさん達の動きを探ったり、恵理さんの能力を制限するためにいたと思われます。今見つかったコードもこのダークピープル達が隠していたために見つける事ができなかった可能性があります。」

私達は次から次と出てくるダークピープル達の罠にうんざりしています。どれだけ多くのダークピープルや闇の創造主の罠を解決していけばよいのでしょうか。私達は、ホーリー達にこのコードを取り外してくれるようお願いしました。

しばらくするとホーリーたちがやってきて困り顔で言います。
「TAKESHIさん、恵理さん、このコードは思ったよりも厄介です。あまりにも複雑すぎて、このコードを解読するにも時間がかかります。創造主とも相談しているのですが、とても大きな妨害が働いていて解決できないのです。」

このホーリー達が困るくらいですから、かなり厄介なコードであることは間違いないでしょう。
私達はこのコードがいったいどこから来ているのか、このコードに対して闇の創造主が仕掛けをしていないのか調べる事にしました。

私達はスターピープルとピカフラッシュに頼んでこのコードをたどってもらいます。このコードは深い闇を抜け、そしていくつもの世界を経由しながら、「紫ピラミッド」の中心部の奥深くへと入ってきました。私達も用心しながら進んでいきます。

そして私達がたどり着いたその先に、闇の中に閉ざされた一つの空間が見つかりました。その空間の中にはさほど多くない数ですが、ひとつの種族が閉じ込められていました。太陽種族のフレッドがこの種族を調べていて驚きの声をあげています。

「恵理さんと同じように、未来から今の地球に送られてきた人達のスピリットがここに捕らえられています。この人達にも、恵理さんと同じコードがつけられ、現実世界で生きていくことが非常に困難になっているようです。そして自分達の能力が制限され、身体や精神に大きな異常をきたしています。」

私達はそのことを聞いて非常に驚きました。

実は恵理さんは、他の人々のように地球で何回も転生を繰り返してきた地球人ではなく、未来から地球のアセンションのために送り込まれた未来人なのです。

そのために、他の人々では持ちえない特殊な能力を彼女は持っています。

恵理さんは、この時期に地球のアセンションを助け、太陽種族の子孫を残すために、その遺伝子を持って、現代の地球に生まれてきたのです。

しかし、恵理さんと同じように、未来からこの地球に送られてきた人達がいるとは、私達は考えもしませんでした。

この種族の人達は、通常の地球人は持つことが出来ないサイキックな能力を持っているようですので、特にシャーマンや神官として地球上に生まれる予定だったようです。

そして、地球のアセンションを助けるための任務をもっています。

恵理さんの母方の家系も、沖縄のユタやノロをたくさん輩出したシャーマンの家系です。

普通の人には見えない世界を見て、霊的な問題を解決する事を行う家系の一人として、恵理さんは生まれ育てられましたので、彼女は自分の能力をしっかりと発揮することができるようになったのです。

しかし、このコードは恵理さんの家系の人達にもつけられていたようです。

特別な能力を持っている恵理さんの家系の女性達は、同じ原因不明の病気によって、全身がマヒして体が動かなくなってしまった人達が何人もいます。

彼女たちは自分の持っている能力を奪われ、現実世界で生きる事に大変な苦勞を強いられているのです。

恵理さんもすでに 10 代の時に、全身がマヒする病気が発症したり、突然の癌で死を宣告されたりしましたが、大天使やスターピープル達の力添えで、癌や原因不明の病気を乗り越えて活躍しているのです。

未来から来た種族の人達が、このような場所に捕らわれているとしたら、おそらく未来人の目的どおり活躍できているのは、恵理さん 1 人かもしれません。

彼女達の多くが捕らわれる事なく活躍していれば、地球のアセンションは、もっとスムーズ

に行われていたでしょう。

しかしながら彼女達が捕えられて、この場所に閉じ込められてしまったために、彼女達はたとえ地上に生まれてきたとしても、自分達の望みどおりの人生を生きる事はできないでしょう。

自分達の能力は奪われ、自分御意思で生きることが困難になります。

そのために、アセンションを成功させるために、恵理さん 1 人が重荷を背負うことになってしまいました。

そしてこのコードによって多くの人達が精神的、肉体的に問題を起こしています。

人には見えない世界が見える事で、他の人達から変人扱いされ、心に異常があると思われて精神病院に入れられる事もあります。

そして、この種族の人達の多くが、心と体の病気になって命を失ってしまいました。

私は恵理さんを生み出した未来の地球人達を呼び出しました。

彼らは時を越えてすぐに私達の元にやって来ました。

そして、この捕らえられている人達を見て愕然としています。

地球のアセンションを推し進めるために生み出したにも関わらず、その目的を果たすことなく、この場所に閉じ込められ、世の中をただ傍観している人々を見て、未来の人達はとても悲しく思っていました。

私達はこの人達を救いだすと、この場所を統治しているダークピープルや闇の創造主の探索を行いました。

すると幾人ものダークピープル達が見つかる事を恐れて、逃げ出していたことがわかりました。

しかしながら、スターピープル達も、彼らのあとを追って数人のダークピープルを捕まえる事ができました。

そしてその数人のダークピープルのスピリット体から伸びているコードを辿っていくうちに闇の創造主が1人隠れている事がわかりました。

おそらく「宇宙に闇をもたらす創造主」に作られた偽の創造主でしょう。

この創造主は捉えていた種族の人達の力を使い自分の姿を隠していたのです。

その様子を見た第 23 評議会の創造主はとても驚いています

あれだけ、私達の宇宙をクリアリングし偽の創造主を探し出して処理したにも関わらず、まだ創造主が残っていた事に対して、自分の力が及ばなかった事を非常に残念に思っているようです。

しかしこの創造主を捕えて光に返す事で、今まで恵理さんの体についていたコードの力も無効となり外す事ができるようになりました。

この闇の創造主が捕えていた恵理さんと同じ種族の人達も、スピリットや意識が自由となり、新たに人として転生する事ができるようになりました。

また現実世界でこの捕らえられたスピリットを持っていた人達は、今大変な苦しみの中にあるかと思いますが、その苦しみや束縛からもやがて解放されていくことでしょう。

PART3 「宇宙に闇をもたらす創造主」に騙されていた第 24 評議会の創造主

私は恵理さんと同じ種族の人々が解放された後に、この種族を生み出した未来の人々と話をしました。

それは、恵理さん達の種族を作る事を決めた創造主に、恵理さん達の種族を生みだした理由を確認したいと思ったからです。

「恵理さん達の種族を生み出した創造主のことを教えてくださいませんか、私はその創造主に会って話をしてみたいのです。」と未来の人達に尋ねました。

未来から来た人達は、私の考えている事を瞬時に理解したようです。

「それは「愛で統一された宇宙」の創造主様です。

私達は「愛で統一された宇宙」の創造主様から、その光と遺伝子を頂いて、恵理さん達の種族を生み出したのです。」と未来の人達は答えました。

私は「愛で統一された宇宙」の創造主がこの件に関わっている事に対して、なるほどと思いました。

以前、恵理さんが高次元のスピリットと繋がることを妨害するコードを取り除いた時に、恵理さんと繋がっていた高次の創造主は「愛で統一された宇宙」の創造主だったのです。

私はその事を思い出して、やはりこの「愛で統一された宇宙」の創造主に恵理さんたちは繋がっているのだと確信を持ちました。

私は恵理さんを通して、恵理さん達の種族を生み出した創造主を呼び出しました。しかしおかしいことに誰も私達の呼びかけに応えてくれません。

私達と「愛で統一された宇宙」の創造主達は、もうすでに深く繋がっていますから、その創造主がいればすぐに私達の呼びかけに答えるはずなのです。

その様子を見て未来の人達も不思議に思っています。

そして未来の人達の1人が私にこう言ったのです。

「もしかして「愛で統一された宇宙」の創造主の方が「宇宙に闇をもたらす創造主」によって捕らわれている可能性はありませんか。

私達が研究段階から「宇宙に闇をもたらす創造主」がその様子を調べていたようですから、恵理さんの種族を作り上げるために力を尽くした創造主にたいして妨害を行っても不思議ではありません。」

私は恵理さん達の種族が捕らえられた場所に戻り、「愛で統一された宇宙」の創造主を探すことにしました。

すると深く隠されていた場所にこの種族を生み出した創造主が捕えられていたのです。創造主はその輝きも失われ、自分の行動や思考も制限されてここに隠されていたのです。

私達は、第23評議会の創造主にお願いして、すぐに創造主を助け出してもらいました。

そして「愛で統一された宇宙」の高次元の創造主を呼び出してこの状況をお見せしたのです。

「愛で統一された宇宙」の創造主の中でも、高次元に存在する創造主は、この状況を見て驚いています。

「私達の宇宙の創造主が捕えられるなんて一体何が起きたのでしょうか。

この創造主は今でも私達の宇宙に存在しています。

しかしながら、捕らえられた創造主が私達の「愛で統一された宇宙」の創造主である事に間

違いはないようです。

私はすぐに戻って、この創造主と同じ創造主が一体何者なのかを調べたいと思います。」
そう言って捕えられていた創造主を連れて、自分達の宇宙へと戻って行きました。

私達もこの創造主の後を追いかけて、一緒に「愛で統一された宇宙」へと入りました。
高次元の創造主は、捕えられていた創造主のポジションにいた創造主を調べ終わると、私達に報告してくれました。

「捕えられていた創造主のポジションにいた創造主は、偽物の創造主である事が分かりました。

捕らわれていた創造主に、能力や姿、光の色なども似せて作られたとても精巧な偽物の創造主でした。

皆さんのおかげで本物の創造主を取り戻すことが出来ました。

有り難うございます。」

偽物の創造主は捕えられていた創造主の働きと同じような働きをしていたようです。
しかしながら全く同じというよりも、そこに少しずつ闇のエネルギーを入れていくという働きを、ひそかに行っていたのです。

そのことによってこの創造主の周りでは、少しずつ闇が大きくなり、「愛で統一された宇宙」の中にもひとつの汚点ができていたようです。

周りの創造主達は、この創造主が偽物であるとは気づいてはいないようでした。
お互いが深い信頼で成り立っているこの宇宙だからこそ、1人の創造主が本来とは異なる働きをしていても何か意図があってそのようなことしているのだろうと、他の創造主は信頼していたのです。

この創造主が本物ではない偽物だと分かって「愛で統一された宇宙」は大変な騒ぎになりました。

誰がこのような事をしたのだ、どのような目的でこのような偽物を送り込んだのだ、ということ創造主達は話し合っています。

おそらく「宇宙に闇をもたらす創造主」が何らかの形でこの宇宙に入り込み、本物の創造主

を捕え、その代わりに偽物の創造主を置いたのだと思われます。

そうすることによって「宇宙に闇をもたらす創造主」は「愛で統一された宇宙」の計画も全て見通すということを狙っていたのではないかと思われました。

私はそのことを第 23 評議会の創造主に報告しました。

すると第 23 評議会の創造主は非常に困ったような顔をして私に言いました。

「TAKESHI さん「宇宙に闇をもたらす創造主」は、この「愛で統一された宇宙」には入れないはずなのですが、どうして彼はこの宇宙に入り創造主を捕えることができたのでしょうか？」

私はそのことに驚きました。

「「宇宙に闇をもたらす創造主」はどこにでも入れるのではないのですか、」と私は聞きかえしました。

「TAKESHI さん、そうではないのです。

「宇宙に闇をもたらす創造主」は決められた場所にしか入れません。

それは私達のさらに上の創造主達が、この宇宙には試練を与えよう、この宇宙には成長するために闇を与えよう、と決めた宇宙にしか「宇宙に闇をもたらす創造主」は入ることができないのです。

この「愛で統一された宇宙」はもうすでに学びを終えていますので、「宇宙に闇をもたらす創造主」が入る必要はないのです。

「宇宙に闇をもたらす創造主」が、この世界に入るためにはさらに高次の創造主の手助けが必要なのですが、いったい誰がそのようなことをしたのか、私は調べなければなりません。」

第 23 評議会の創造主が言うには、自分よりもさらに高次の創造主が「宇宙に闇をもたらす創造主」を手助けしたのではないかということでした。

私達は第 23 評議会のさらに上にある第 24 評議会の創造主に、そのことを尋ねたらどうかと第 23 評議会の創造主に言いました。

「分かりました。

第 24 評議会の創造主と話をするためには特別なルートが必要なのです。

私は今からそのルートを辿って第 24 評議会の創造主に会いに行きますので、しばらく待っていてください。」

そう言って第 23 評議会の創造主は姿を消していきました。

しばらくすると第 24 評議会の創造主が、私達の前に姿を現してくれました。

今、姿を表している第 24 評議会の創造主は、私ともスピリットの光が繋がっている創造主だということですので、私達の前に現れることが出来たようです。

私は第 24 評議会の創造主に尋ねました。

「偉大なる第 24 評議会の創造主よ。

ご覧のように「宇宙に闇をもたらす創造主」が入ることができない「愛で統一された宇宙」の創造主が彼によって捕えられ、代わりに偽物の創造主が「愛で統一された宇宙」に送り込まれていました。

第 23 評議会の創造主が言うには、これは「宇宙に闇をもたらす創造主」だけではできないことなので、より高次の創造主が関わっているのではないかということです。

そのことについてあなたに心当たりがないかを尋ねたいと申します。」

第 24 評議会の創造主は少し調べているようです。

「TAKESHI さん、この件に関しては「宇宙に闇をもたらす創造主」を生み出した「全ての闇を生み出す創造主」が関わっているようです。

彼を呼んで話を聞いてみましょう。」

暫くすると、私達の前に第 24 評議会の創造主である「全ての闇を生み出す創造主」が現れました。

私に何か用ですかと創造主は言いました。

「偉大なる創造主よ。

実は「宇宙に闇をもたらす創造主」が「愛で統一された宇宙」の創造主を捕らえ、偽物を送り込んだのです。

彼はこの世界には入れない事になっているのですが、この事に関してあなたが何か知っていることはないか、尋ねたいと思います。」

「全ての闇を生み出す創造主」はしばらく考えながら答えました。

「確かに「宇宙に闇をもたらす創造主」が私の元に来て「愛で統一された宇宙」の創造主の1人が非常に横暴な活動している。

自分の愛を無理やり他の人々に押しつけ、それによって束縛しているというような事を言ってきました。

そのために、この創造主に少しばかり学びを行なわせたいので、この創造主のもとに私を送ってくださいませんかと頼まれたのです。

私はそのような事であれば、その創造主に学びを与えても良いだろうと考え、「宇宙に闇をもたらす創造主」を「愛で統一された宇宙」の中に入れ、この創造主のもとに送り込みました。

私が行ったのはそこまでです。

しかしながら、今あなた方の宇宙の様子を見ると「宇宙に闇をもたらす創造主」が行った事はそれだけではなさそうですね。

私も「愛で統一された宇宙」の創造主が、長い間捕らえられていた、という事を知って驚きを感じています。

私は「宇宙に闇をもたらす創造主」を作った創造主として、彼の働きを非常に信頼していましたが、今回、地球だけでなく多くの宇宙が、彼の行動によって闇の深い宇宙に変わった事を驚きと悲しみを持って見えています。

私も彼の言葉に騙されて、彼を「愛で統一された宇宙」の創造主のもとに送り込んでしまったようです。

私は皆さんに対して深くお詫びを申し上げたいと思います。

私も皆さんと協力して、「宇宙に闇をもたらす創造主」が行った事の後始末を共に行いたいと思いますので、どうかお許してください。」

第24評議会の「全ての闇を生み出す創造主」はとても丁寧に私達に答えてくれました。

「いえ、私達は決してあなたの責任だとは思っておりません。

私達も「宇宙に闇をもたらす創造主」に騙され続けてきましたので、皆さんがそのようにおっしゃって、私達に協力してくださるだけでもありがたいと思います。

どうかよろしく願いいたします。」と私は答えました。

第 24 評議会の創造主は私のスピリットとつながる創造主と話をしながら、私達の宇宙の正常化に向けて努力してくださることになりました。

しかしながら初めてを現れてくれた第 24 評議会の創造主の光はとても素晴らしいものです。そしてこれから私達のアセンションに対しても第 24 評議会の創造主の皆さんが手伝ってくれることとなりました。

第9章 宗教に仕掛けられた罠

PART1 宗教の世界に捕らわれている地球人のスピリット

それから数日の間、私達は不思議な夢を見るようになりました。

それは何かしら宗教に関わっている夢、自分が宗教の信仰を行って苦しめられている夢やあるいはそういった人達を見ている夢です。

「6 大天使による光のピラミッド」のセッションでも、その人の過去世を解き明かすと宗教に関わっている過去世、あるいは黒魔術や信仰などに関わっている過去世がよく出てくるようになりました。

私達は創造主にこれはどういうことですか、何が起きているのですか、と尋ねました。

すると創造主は、「私達は、「紫ピラミッド」の中でも最も奥深いところにある宗教に関わるゲートから「紫ピラミッド」の本質を探り出しているところです。」と答えました。

今まで私達のセッションでは、キリスト教などの大きな宗教に関わる過去世の問題はあまり出てこなかったのですが、この時期になって、人々の心の奥深くに隠されていた宗教に関わる様々な過去世や感情の問題などが出てくるようになったのです。

「6 大天使による光のピラミッド」のセッションを行う中で、人々の宗教に関わる過去世や現実世界の問題から、宗教の世界に捕えられていた人々のスピリットがたくさん見つかるようになりました。

私達は、創造主と相談して、思い切って宗教のゲートを使ってその奥深い場所に入ることにしました。

宗教のゲートというのはとても難しい問題です。

というのは宗教の指導者達は、すでに自分達が闇の存在と共に働いているということを知っているからです。

そして特別な力やカリスマ性、人々を操る支配力、人々の心や魂を捕える力を支配者達が、闇の存在達から受け取る事によって、地球の人々達の多くを支配する宗教を作り上げているからです。

そして地球の人達は、自ら宗教に依存するようになってしまいました。

宗教の支配者達は、人々の意識をコントロールして、自分達の教団に依存させ、教団のために働かせる力を得ています。

そしてその力を使って、信仰という名前のもとに、十字軍であるとか中南米に対する侵略などを行って、他の国々や民族を支配して自分達の奴隷のように使う事を自分達に許しているのです。

このことに対して創造主やスターピープル達は昔から疑問に感じていたようです。

本当に地球の宗教というものが人々の進化のために役に立ってきたのか？

宗教は、人々を幸福にして、人々に夢や希望を与えているのか？

あるいは人々を支配し墮落させるために、そのカモフラージュとして宗教が使われているのではないか？

私達はこの宗教のゲートの奥深くに入ることにしました。

そうするとそこには多くのダークピープル達が、地球の人達と一体化して働いています。

ここで働いているダークピープル達も、何かに洗脳され、そして自分達に特別な力を与えてもらう事を喜びとして働いています。

彼らはその力を使い、地球の人々を支配して自分達の宗教から離れないようにしています。

そしていくつもの異なる宗教の世界の奥深いところに1人の巨大なダークピープルが居座っていました。

私はすぐにスターピープルに、このダークピープルを調べてもらいました。

「TAKESHI さん、このダークピープルは、闇の創造主達がいなくなった後、彼がその力を使ってダークピープル達を操り、宗教組織を維持させていたようです。

そして、最終的には、このダークピープルが、地球の人達を、宗教という名のもとに支配しているようです。

彼はとても古いダークピープルですし、彼と繋がっている地球人達もたくさんいます。」

私達はそのダークピープルを光に帰すことはできませんので、ダークピープルが持っている特別な力を取り去ることにしてもらいました。

このダークピープルは「宇宙に闇をもたらす創造主」達の力を、まだ隠し持っていたからです。

自分の力を奪われる事に対して、ダークピープルは大変嫌がり、私達にサイキックアタックをかけてきます。

このダークピープルを支援する者達もたくさんいますので、彼らが集団でサイキックアタックを行ってくると、すごい怒りのパワーが私達に向かってきます。

大天使や明王達、そしてスターピープル達にも守ってもらいながら、そのダークピープルから特別な力を取り去っていきます。

しかし、彼らはもうすでに光 40%前半の世界にいますので、これ以上彼らに対して私達が手出しする事はできません。

そして宗教の世界を支配するダークピープル達は、たとえその力が少しばかり弱くなったとはいえ、このまま光 40%前半の世界に残り、地球人達を支配し続けることになるでしょう。

このことについて、創造主は私にこのように語りました。

「TAKESHI さん、このことは非常にむずかしい問題を含んでいます。

それは地球の人達が、宗教組織に力を与えているのはダークピープル達や闇の存在である、という事を十分に理解した上でその力を使っているからです。

地球の宗教支配者達が、ダークピープル達や闇の存在に騙されてその力を使っているのならば、私達はダークピープル達や闇の存在と宗教の支配者達を分離する事ができます。

また宗教の支配者達を洗脳し操ったということで、ダークピープル達や闇の存在等に対して処罰を行うことができます。

しかし地球人は、自分自身がカリスマ性や人々を操作する支配力などの特別な力を得る事を望んでいるので、あえてダークピープル達の力を求めているのです。

そのために地球人とダークピープル達によって、いくつもの宗教や宗教をベースにした政治・経済結社あるいは教育団体などの多くの団体や組織が作られています。

そしてそれらの組織を通して、ダークピープルや闇の力が入り込み、その組織に属するすべての人々の心を捕えているのです。

これはもうすでに光 40%台の世界においては確固としたシステムです。

私達は創造主といえども、このシステムを勝手に破壊する事もそれを無に帰す事もできませ

ん。

これは、地球人の自由意思によって作り出されたシステムだからです。

私達は、彼らが行き過ぎた事をしないように見張っている事しかできないのです。

もちろん、光が多い世界に行く人達の魂やスピリットを捕えて、地球人が光の世界に行く事を妨害するという行為に関しては、私達は止める事はできるでしょう。

しかし私達にできる事はこれだけです。」

私はこの創造主の言葉を聞いて非常に残念な思いがしました。

「創造主よ、この宗教によって捕えられた人達のスピリットはどうなるのですか。

地球人は長い歴史の中で、何回も過去世を繰り返し、その多くの過去生でこの宗教の問題にとらわれています。

今よりもさらに古い時代、十字軍や宗教による侵略戦争によって傷つけられ殺されてしまったたくさんの人々のスピリットも闇の中にとらわれている事でしょう。」

「TAKESHI さん、本当にそうです。

私達は、救われる事を望むスピリット達をすべて救い出していかなければなりません。

しかし、そのためにいくつもの宗教を細く見ながら、その宗教ごとに捕らえられたスピリット達を探し出すという作業が必要なのです。

彼らは各宗教や宗派ごとに人々の心やスピリットを捕える場所を作っています。

1人の宗教指導者につき1つの世界があると言っても過言ではありません。

その世界の中に多くの人達のスピリットが捉えられていますので、私達はこれからそのスピリットたちの救出を試みたいと思っています。

助け出されることを望むスピリット達を救出する事には、ダークピープル達たちは反対できません。

そしてそれらのスピリット達を救出し、地球の人々に統合していかなければなりません。

しかしここにも大きな問題があります。」

創造主は、言葉を止めました。

「それは地球の人々が宗教に対して大きな依存心や希望を持っているということです。

闇の存在が裏にいると分かっているにもかかわらず、分からなくても、地球の人々が持っている依存心や欲望、あるいは神々に自分の希望を叶えてほしいという願望によって、その宗教のゲートに

捕らわれた人々のスピリットがその場所から出ていかないという可能性が非常に高いのです。

地球人の多くの人達がこのスピリチュアルな世界の現状を見えるわけではありません。自分達が信仰している神がどのような神であるか、あるいは自分達を指導している宗教者がどのような闇を抱えているか、そのことに全く気づきません。

そして自分が信仰している神がこの地球で唯一最高の神である、自分達を指導している神父や教会の人達、あるいは宗教指導者が本当に優れた素晴らしい人達であるという風に思い込まされているのです。

そのために彼らのスピリットを解放したところで、スピリットの持ち主の元に戻り統合する事はありえないでしょう。

私達もこれほど地球人の宗教に対する思いや依存心が強いと思っていませんでした。地球人がこの宗教に捕らわれている限り、地球人が光の世界に行く事は難しいかもしれません。

地球人がこのような思いや囚われから、自由になるためにはまだまだ時間が必要です。私達はそれをどのように解決したらよいか、多くの者達と共に相談しています。」これが地球の宗教に属している人達に対する創造主達の考えのようです。

PART2 地球の保護区に入る人々

しばらくしてアシュタールのエレナさんが私達に報告に来ました。

「TAKESHI さん、地球のアセンションの最終期限は 2019 年の末まででしたが、今の状況では、地球の人達が「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った罠に引っかかり、自分達の成長もできず、愛の度数がとても低い状態になっています。

このままでは光 51% 以上の世界に入れる人達はほとんどいない、と創造主は考えたようです。光 51% 以上の世界は、まもなく出来つつありますが、そこに現在の地球人を迎え入れる事はまだできないということなのです。

光 51%以上の世界に行く予定の人であったとしても、宗教の罨や現実世界で欲望の世界に引きずり込まれて愛の度数が十分ではありません。

そのためにほとんどの人が光 51%以上の世界に入る事ができないのです。」

私はエレナさんの言葉を聞いて、とても残念な気持ちがしましたが、現状では仕方がないようです。

エレナさんは続けて報告をしてくれます。

「しかしながら、光 40%台の世界に残る人々と同じ物理世界に、光が多い人を置いていたのでは、光 51%以上の世界に入る人達の光も奪われ、ますます光が多い世界に入る事ができなくなります。

そのために光が多い人達を、今の物理世界から一旦分離してクリアリングを行いながら、光 51%以上の世界に時間をかけて入れることを創造主は考えているようです。」

私はこの言葉に少しショック覚えました。

少し前までの計画では、2019 年の末までに、世界の完全分離が行われ、光 51%以上の世界が出来上がる予定だったのですが、確かに現在の地球人達の様子を見ても、自分の事や自分の欲望ばかりに気を取らとられていて、地球の事や他人の事を考える余裕があまりないようです。

愛の度数が足りないから光 51%以上の世界に入れないとと言われても、それをなんとかクリアして多くの人達が光 51%以上の世界に入れるように、多くのスターピープルや大天使達が地球の人々を導こうと働いてきたのですが、その努力もダークピープル達に邪魔されて、思うように効果を出す事ができませんでした。

しかし、もっとも大きな原因は、地球の人々が本気で光が多い世界に行こうとしていない事です。

心の中では、光が多い世界に行きたいとか、アセンションしたいと思っても、怒りや憎しみの感情を手放すことができず、お金儲けのためのヒーリングや仕事などから離れられない人、依存心を捨て去る事ができない人などがたくさんいます。

私達は、地球に生きている人達がすぐに 光 51%以上の世界に入れないとわかって非常に落胆しています。

しかしながら、創造主の皆さんが、光 51%以上の世界に行く人のために、特別な保護区を作ってください、光 40%台前半の人達と接する機会を少なくする事によって、光を持った人達が急速に進化し愛の度数を高めることができるのではないかと考えています。

第10章 全てを虚無に返す宇宙とアセンションの行方

PART1 地球を飲み込む虚無の宇宙とダークピープル

そのような中、私達は8月20日に行われるセミナーの準備を行っていました。以前、1人の女性がこのセミナーを受けてくださったのですが、自分の娘の事がとても気になるからといって、お嬢さんを誘い、私達のセッションやセミナーを受けてくださる事になったのです。

そのお嬢さんというのは、現在18歳ぐらいの方ですが、とても無気力でやる気がなく何か自分の意思で自分の人生を生きていく事ができないというような状況に置かれています。

私達は、彼女に対して「6大天使による光のピラミッド」や大天使ハニエルのアチューメント等を行いながら、彼女の状態を見ていましたが、大天使の光も通らず、また大天使たちも彼女に対して自分達を受け入れてもらえていないのでサポートすることはできないという事を言っていました。

しかしながら何か方法があるのではないかと、彼女が無気力になっている原因が何かあるのではないかと私達はずっと調べていたのです。

するとセミナーの前日からとても大きなエネルギーが私達を襲ってきました。そのエネルギーは若い人達の無気力なエネルギーから生まれているようですが、「自分達をこのままにしておいてくれ、自分達に関わらないでくれ。」というようなメッセージを伝えてきます。

恵理さんには、多くの若者達のスピリットが捕えられ、彼らの感情を利用して、私達にサイキックアタックを送ってきているようなヴィジョンが見えています。

私達が、そのヴィジョンを通して、無気力になっている若者達を操作している存在を探ろうとすれば、恵理さんの頭に、とても強力な痛みや様々なネガティブな幻想が送られてきます。しかし、そのようなサイキックアタックを押しつけながら、捕らわれている若者達の居場所を探し出すことにしました。

スターピープル達が、彼らから送られてくるエネルギーをもとに、様々な場所を探し回ると、ようやく彼らの居場所が見つかりました。

彼らは、ダークピープルが作り出した殺伐とした地球の中に閉じ込められていました。

これは私達の地球とは、少しばかり異なるパラレルワールドかもしれません。

植物も育つことがなく荒れ果てた岩肌とどんよりとした空によって包まれた荒涼とした世界に、彼らの魂がたくさん捕らえられてコントロールを受けているようです。

私達はこの多くの無気力な人達の裏に、底知れぬ力を持った闇の創造主やダークピープル達がいるのではないかと考えました。

そして、ここに捕らわれた人々をコントロールしているエネルギーを辿って、彼らを操っている存在、彼らを支配している存在を見つけようとなりました。

彼らが奪っているのは、地球の人々の気力だけでなく、地球の未来そのものだからです。

私達は様々なスターピープルや大天使そしてホーリー達の助けを借りて、この無気力な若者達の裏にある存在やエネルギーを探しました。

そして、とても巨大で赤黒いこの地球のものとは思えないようなダークピープルを見つけたのです。

それは今まで会ったダークピープルとは桁違いのパワーと混沌としたエネルギーを持っています。

まるで蟻地獄のように、すべてのものを闇の中に引きずり込み、そこから決して出しはしないというような恐ろしいエネルギーです。

おそらく多くの若い人達がこのエネルギーに捕らわれて、自分自身を無気力な存在、生きる価値のない存在と思っているようです。

私は創造主にお願いして、すぐにこのダークピープルを捕えてもらいました。

そしてホーリーたちがこのダークピープルの事を調べています。

「TAKESHI さん、このダークピープルは地球に今まで存在していたダークピープルではありません。

地球とは全く違う世界から送られてきているようです。」

「それではこのダークピープルは「宇宙に闇をもたらす創造主」によって、彼らの世界から連れてこられたのですか。」と私は尋ねました。

「いえ、「宇宙に闇をもたらす創造主」のダークピープルでもないようです。」とホーリーは答えます。

私はこのダークピープルの裏に何があるのか、彼がどこから来ているのか、それを調べるためにこのダークピープルのエネルギーラインを調べました。

そうするととても大きな闇の宇宙がこのダークピープルの後ろに開いていたのです。

それは「宇宙に闇をもたらす創造主」が作った闇よりも、さらに深い闇、混沌、カオスとも言うべきものです。

そしてその中に私達の宇宙のエネルギーや人々のスピリットがどんどん吸い込まれているようなのです。

私は急いで第 23 評議会の創造主にこの事を報告しました。

この宇宙を見た第 23 評議会の創造主はとても慌てた顔で言いました。

「この宇宙は、闇が深くて光に返すほかはないという星や宇宙にゲートを開いて、その星や宇宙を飲み込んで無に返すための宇宙なのです。

この宇宙が、皆さんの地球にゲートを開いているのは、何かの間違いではないかと私は思います。

あるいは、誰かが意図的にこの宇宙のゲートを開いた可能性もあります。

この宇宙は第 24 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」が管理している宇宙なので、彼に聞いてみなければなりません。」

第 23 評議会の創造主は言いました。

私はすぐに第 24 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」に来てもらい、この場所を見てもらいました。

「全ての闇を生み出す創造主」はこの事に大変驚いています。

「確かにこの宇宙は、私が管理する宇宙です。

そしてこの宇宙は、闇が深すぎて立ち直る事はできない、という宇宙を光に返すための宇宙

なのですが、これがなぜこの地球に開いているのか、私にも理解できません。

すぐにこの宇宙を皆さんの宇宙から分離し、みなさんの宇宙に影響がないようにしたいと思います。」

と言って「全ての闇を生み出す創造主」はこの宇宙のゲートを閉じこの宇宙を分離していきました。

ホーリー種族の中でも第 23 評議会に属するホーリー族や高次元のスターピープル達がすぐに降りてきて、この宇宙のエネルギーが、私達の宇宙の中に入り込んでいる状態を調べ、それを徹底して除去する作業に入ったようです。

そして「全ての闇を生み出す創造主」が戻ってきて私にこのように言いました。

「どうやらこの全てを無に帰す宇宙の中に、「宇宙に闇をもたらす創造主」の意識が入り込んだようです。

そして自分が光に返される前に、この宇宙の中に自分の意識の一部を溶け込ませ、皆さんの宇宙を、この虚無の世界へと引きずり込もうとしたようです。

私はこの宇宙から、「宇宙に闇をもたらす創造主」の意思を抜き取り、純粋な虚無の宇宙へと戻していきます。

これ以降、この宇宙が皆さんの宇宙と関わる事はないと思いますのでご安心ください。

しかしながら、私が生み出した「宇宙に闇をもたらす創造主」がここまで闇が深くなっていたとは、私も気づきませんでした。

そのことをまた重ねて皆さんにお詫びしたいと思います。」

私は「全ての闇を生み出す創造主」に尋ねました。

「「全ての闇を生み出す創造主」よ、ご配慮いただき大変有り難うございます。

この虚無の宇宙が、私達の地球と繋がったままだと、地球はどうなるのですか。」

「全ての闇を生み出す創造主」は答えてくれました。

「この虚無の宇宙が残っていたら、あなた方の地球は先ほど見たような殺伐とした地球になってしまいます。

地球の人々も全て無気力となり、働く事も子供を作る事もしませんので、どんどん人口は減っていきます。

自然も荒れ果て、文明自体が崩壊して、あなた方は絶望的な未来を迎える事になるのです。そしてそこに住む人がいなくなったら、その星は活力を失い光に還ります。」

私は続けて尋ねました。

「多くの無気力の若者達が、この宇宙に捕らわれていたようですが、この宇宙から来たダークピープル達がこの若者達の心をとらえていたのですか？」

「残念ながらそのようです。

この虚無の宇宙から来たダークピープル達は、人間の意識にぴったりと張り付いて、人々を無気力にして判断力を全て失わせます。

そして他人に依存するような生き方や夢も希望もない生き方をするようになってしまいます。」

私は、明日セミナーを行う女性の事を聞いてみました。

「それでは、私達が明日セミナーを行う女性も、このダークピープル達が関わる事で無気力になり、生きる夢や希望を失ったということでしょうか。」

「それも1つの原因だと思われれます。

ほかにもいくつか原因があるようですが、このダークピープルが取りつくと、様々なネガティブな現象を引き寄せてしまいます。」

「このダークピープル達を、彼女や多くの若者達から分離する方法はありませんか。それがあれば私達のスターピープルやホーリー達に教えていただきたいのですが。」と私はお願いしました。

「全ての闇を生み出す創造主」は快くうなずいて私の求めにに応じてくれました。

「分かりました。

この事に関する情報をホーリー達に渡しましょう。

もしあなたが、そのような若者達と直接会う事ができるのならば、その時にホーリー達がすべてを解読して、地球の若者達からこのダークピープルを抜き取るための方法を見つけ出してくれるでしょう。

私もできる限りお手伝いいたします。」

「全ての闇を生み出す創造主」は、そうやってホーリー達にこのダークピープルの情報を与えてくれたようです。

幸いなことに明日この女性が私達の元に来てセミナーを受ける事になっています。

その女性は、私達と共に長い時間を過ごしますので、その間にホーリー達がこのダークピープルのことを解明し、地球の若い人達から、このダークピープルを抜き取るための仕組みを作ってくれることでしょう。

PART2 闇の創造主にコントロールされていた「地球の門番」

セミナーが行われる中で、やはりこの「すべてを虚無に帰す宇宙」とその世界から来たダークピープル達の問題が浮上してきました。

セミナーを受けてくれた女性を詳しく調べる中で、この若者達にとりついているダークピープルは、やはり地球のダークピープルではなく、「宇宙に闇をもたらす創造主」がいた宇宙や他の宇宙を闇の中に陥れたダークピープル達の遺伝子が組み合わされて作りだされている事が分かったのです。

このダークピープルは、ゲートを開いた星に入り込み、その星の人々を無気力にさせ生きる力を奪っていきます。

そして子供を作る事や自分達の子孫を育てる事をしなくなります。

その結果、人口が減っていき、その星に生きる人達は生命力を失ってその文明ごと滅びていくようです。

そのような星はやがて廃墟となり、星自体も生命力が奪われて荒廃してしまいます。

そしてその恐怖の宇宙の中へとすべてが吸収されていくのです。

それは、「全ての闇を生み出す創造主」が言った通りの事でした。

「宇宙に闇をもたらす創造主」は、自分がやがて光に帰されるかもしれないと考えて、この宇宙と繋がり、この宇宙のダークピープル達を地球へ解き放っていたようです。

しかし、この宇宙のダークピープルは、地球人の意思によって繋がっているダークピープルではないので、ホーリー達は地球人から分離することができると考えているようです。

そして今回セミナーを受けてくれた女性を通して、多くの若者達の中に入り、このダークピ

ープルを取り除く作業に入りました。

そしてセミナーを進める中で、この宇宙から来たダークピープル達のリーダーとも呼べるようなダークピープルが見つかったのです。

そのダークピープルのリーダーは、地球のコアの奥深くに隠れて、地球で活躍している自分達の仲間達を操っていたようです。

そのことが判ると特殊な力を持ったスターピープルとホーリー、そして創造主が地球のコアの奥深くに入っていました。

闇の力を使って、抵抗して逃げ惑うダークピープルを創造主達はようやく取り押さえたようです。

私達は、創造主二お願いして、そのダークピープルのリーダーを光に返す事ができました。

そしてさらにもう一つ、彼女のセミナーを行っていく中で、このダークピープルに関わっていた存在が見つかりました。

それは「地球の門番」と呼ばれる存在です。

「地球の門番」は、創造主に近い立場にいる存在ですが、私達の地球の中に入ってくる種族達を調べる働きを持っています。

正式な許可を得て地球に入ろうとしているのか、あるいは何か欲望を持って独断で地球に入ろうとしているのか、ということはこの「地球の門番」は調べます

そして創造主や正式な評議会の許可がある者達を、この地球に通します。

しかし、正式な許可がない者達は地球に入れないという働きを行う存在です。

この門番は中立の立場にありますので、正式な許可さえあればスターピープルであれダークピープルであれ、地球に入れる事になります。

しかしながら、この「地球の門番」が、「宇宙に闇をもたらす創造主」絶ちによってコントロールされていたという事がわかりました。

そのために創造主が認めていないダークピープル達が、「地球の門番」の判断によって地球に入ることができていたのです。

そのために、この地球に、創造主も知らないダークピープル達が勝手に入りこみ、地球の人

達に関わっていたという事も分かったのです。

また他の星から地球にサポートに来たスターピープル達の情報も、「地球の門番」によって「紫ピラミッド」のダークピープル達に知らされていました。

それによって、地球に入ってきたばかりのスターピープル達が、ダークピープルによってすぐに捕らえられ「紫ピラミッド」に利用されるということも起きていたのです。

第1評議会のスターピープル達も、自分達が呼び寄せたスターピープル達が地球に入ってきたけれど、その後すぐに行方不明になったり、捕われてしまって活動する事ができなかったという事が頻繁に起こっていたことに対して疑問に思っていました。

そして、この「地球の門番」が闇の創造主やダークピープルに操られていたという事を知って、その理由が分かったのです。

創造主はすぐにこの「地球の門番」を他の者に変えて、さらに門番に対する監視人を付けることにしたようです。

そうすることで創造主が認めていないダークピープルや不要な存在達がこの地球に入る事も、創造主が認めていない宇宙が地球とゲートを開く事もなくなるでしょう。

私達は今「宇宙に闇をもたらす創造主」によって作られた様々な仕組みや罠を見つけ出し、その仕組みを変えていきました。

そして、地球の現実世界に君臨する「紫ピラミッド」と呼ばれる支配機構、そして「紫ピラミッド」で働く多くのダークピープル達と戦いながら、彼らが捕えた多くの人達の魂やスピリットを解放していきました。

この事によって地球人の魂や意識は「紫ピラミッド」から解放されていったことは間違いありません。

しかしながら地球人そのものが光へ向かうという意思を持つことができるにもかかわらず、多くの人達が、今まで生きてきた光40%台の地球にとどまることを望んでいるようです。

元々地球人はアセンションが行われている事や地球人が進化しなければならない事、そしてそのためにスターピープルや大天使達が地球人を手助けに来ていることなども一切知りません。

また自分達がダークピープルや「紫ピラミッド」によって支配されている事も知りません。地球人が自らの意思で意識進化してスターピープルになるには、そのような事もしっかりと理解して、自分の愛の度数を高めるための努力をしなければなりませんので、まだしばらく時間が必要です。

しかし地球そのものが、もう長い時間、今のままでいる事はできないようです。地球が持っている特別な仕組み、地球人に課せられた太陽種族への進化、そのようなものを実現するためには、現在創造主が考えているように光50%以上に向かう人達を特別な保護区に囲い込み、ダークピープル達や「紫ピラミッド」の影響から遠ざけていかなければなりません。

そうしなければ地球人の愛の度数はいつまでも上がる事がなく、光50%以上の世界に独自の力で入ることはさらに難しくなるでしょう。

これから創造主やスターピープル達は光の保護区に入る地球人達を選択して、光の保護区へと運んでいくようです。

今までの世界では、私達は、「宇宙に闇をもたらす創造主」や闇の創造主が作った様々な仕組みを明らかにして、人々の魂やスピリットを捕らわれた場所から解放してきました。後は地球人の意思次第ということになります。

各評議会の創造主の一覧

○各評議会の創造主とスターピープル一覧

	創造主の役割 アセンションを妨害する理由
第 23～ 24 評議 会	<p>全ての創造主を指導する立場にある創造主</p> <p>第 24 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」は自ら宇宙を創造し支配したいと考え闇の創造主を裏で操っていた。</p>
第 21～ 22 評議 会	<p>全ての創造主を指導する立場にある創造主</p> <p>「宇宙に闇をもたらす創造主」によって創造主の成長が行われるはずだったが彼の闇が強くなり私達の宇宙を支配していたことが判った。</p>
第 20 評 議会	<p>私達の宇宙や幾つもの宇宙の物理的世界。スピリチュルな世界を統治する</p> <p>自分の中の闇の部分を取り離し光だけの創造主になろうとしたが、分離した闇が独自の闇の創造主に成長し創造主大戦争を引き起こした。</p> <p>この創造主が自分が切り離した闇と統合することは今回のアセンションの一つの目的だった。</p>
第 18～ 19 評議 会	<p>第 20 評議会から生み出された各系列の最高次元の創造主達。「愛の創造主」「守護の創造主」「光と闇の創造主」が長い時間の封印を解かれて復活</p> <p>「全ての闇の創造主を統治する創造主」もこの評議会の創造主</p> <p>「始まりと終わりの創造主」が闇にまみれ、他の 3 人の創造主との間に創造主大戦争を引き起こし、3 人の創造主とその系列の創造主を封印し、闇の創造主がいくつもの宇宙を統治するようになった。</p>
第 17 評 議会	<p>物理的な宇宙を管理する最高責任者。</p> <p>5 人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている</p> <p>私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。</p> <p>それを収拾する為に物理世界にも介入してはたらいてくれている。</p>

第16評議会	創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人
	第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。
第15評議会	物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者私達を地球に降ろした創造主。
	異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。 第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる。
第13評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。
	5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生み出した創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。
第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。
	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。
第10評	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者

議会	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。
	創造主の役割と創造主の墮落の原因
第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。 「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。
第8評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 私や恵理さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。 第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。
第7評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全てを見守る創造主」がリーダー 上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。
第6評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー 「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。
第5評議会	第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー 第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。
第4評議会	1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。 「光を生み出す創造主」と「力を生み出す創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇

	の創造主に仕立てあげていった。
第3評議会	「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。
	「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。
第2評議会	「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。
	第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。
第1評議会	「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。
	上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。 そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。
物理的宇宙	宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。
	闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピューターを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

宇宙連合の評議会について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えるのもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけをご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。

創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動しています。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。

この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わる事ができます。

そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにする事が第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまった事で、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれる事になりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出す事ができます。

第5評議会から上の評議会は、物理的な宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画している事が分かると、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できないので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

光りの世界の区分

○光の世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に依拠していくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようにです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり、心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違ふと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。
 学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。

光が多い地球

光80~60%
 地上でスターピプルと共に活躍する平和な世界

光60~53%
 宇宙意識に目覚めるための学びの世界

光80~100%
 宇宙のマスターとして活躍する非物理的な世界

光53~47%
 光りと闇の境界、どちらの世界に行くか決める世界

光30~40%
 今よりもはるかに闇が多く犯罪が横行する世界

光40~47%
 現在の地球と同じで争いが多い学びの世界

闇が多い地球

光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
 50%以下はまだ学びが続く世界

<p>光90%台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働く事を喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きている事を深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由に平和な者にするために常に努力してきた人々。</p>

	<p>この地球の闇を知らながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。 人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%台の世界 物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。 またスターピープルの事を深く知り、彼らと共に働ける人。 自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人 地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。 現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。 60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来る事が多いようです。</p>
<p>光60%台の世界 地球では光の世界として新しく生まれた世界。 宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・ 常に正義と愛のために生きてきた人。 欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。 スターピープルの事を理解し上手に付き合う事ができる人 この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人達が入る世界。 少数民族の人達の仲でも、一般社会を知らながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。 ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・ 光の世界にはいる為の教育が行われる世界。 地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来てお</p>

	<p>らず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。</p> <p>周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。</p> <p>この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光 56%～59%の世界</p> <p>光が多い学びの世界</p> <p>光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。</p> <p>今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。</p> <p>この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きた人達です。</p> <p>そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。</p> <p>この世界の学びは「愛の実践」です。</p> <p>宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕する事がこの世界の学びとなります。</p> <p>この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れません。</p> <p>人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>
<p>光 51%～55%の世界</p> <p>光と闇の境界の世界</p> <p>光の度合いはイラストと異なりますが、こちら</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。</p> <p>現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。</p> <p>時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p> <p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達で</p>

<p>の度合いが最新 です</p>	<p>す。</p> <p>また他人のために役に立ちたいと思い行動している人や他人に親切にする事が好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様な事を乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。</p> <p>ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40%～50%の世界 現在の地球と同じ学びの世界</p> <p>光の度合いはイラストと異なりますが、こちらの度合いが最新です</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をしたい人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配しようと思う人、他人に依存したり、他人支配される事を好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光30%台の世界 闇が多い学びの世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。</p> <p>戦争やテロが多発し、多くの人が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送る事になるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つ事になると思います。</p>

	<p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つける事を好んで行ってきた人達がいる世界になると思います。</p>
--	--